



オールインワンDJシステム

OPUS - QUAD

pioneerdj.com/support/

rekordbox.com

serato.com

上記のサイトで、本製品の最新のソフトウェア情報やFAQなどのサポート情報をご覧ください。

もくじ

はじめに	7
本書の見かた	7
付属品を確認する	7
マニュアルを閲覧する	8
本機の概要	9
システム概要	9
rekordbox	12
PRO DJ LINK	14
Serato DJ Pro	14
PC/Mac の準備	15
設定ユーティリティを使う	18
CloudDirectPlay	21
CloudDirectPlay をはじめる	22
CloudDirectPlay の認証用デバイス	23
インターネット接続を確認する	26
CloudDirectPlay へログインする	27
CloudDirectPlay による楽曲ファイルの再生	28
各部の名称	29
コントロールパネル	29
本体フロント部	30
本体リア部	30
本体表示部	32
接続（基本スタイル）	43
PRO DJ LINK 接続	43
メディアの挿入と取り外し	47
USB セクション	47

USB デバイス	48
選曲	49
ブラウズセクション	49
ソースを選択する	50
トラックを選択する	50
トラックを探す	51
ロードする前に音声を確認する (TOUCH Preview)	54
トラックをロードする	55
HISTORY を使う	56
タグリストを使う	57
プレイリスト画面を表示する	61
再生	64
デッキセクション	64
再生／一時停止する	66
全体波形上の触れた位置から再生する	66
逆再生する	66
再生速度を調整する (テンポコントロール)	67
音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)	68
再生中以外の音声をモニターする (TOUCH CUE)	68
録音	69
録音しながらトラックを分割する	69
ジョグの操作	70
ジョグセクション	70
操作モードを切り替える	71
ジョグを操作する	71
ジョグの回転負荷を調整する	72
再生と停止の速度を調整する (VINYL モード)	72
キュー	73
キューポイントを設定する	73

キューポイントに戻る	73
キューポイントを確認する（キューポイントサンプラー）	74
キューポイントを保存する	74
保存したキューポイントを呼び出す	74
保存したキューポイントを削除する	75
オートキューを設定する	75
ループ	76
ループを設定する	76
ループポイントを微調整する	77
ループの長さを調整する	77
ループインポイントに戻ってループ再生する（リトリガー）	78
アクティブループを使う	78
ループ再生を解除する	78
エマージェンシーループ	79
ループポイントを保存する	79
保存したループポイントを呼び出す	79
保存したループポイントを削除する	80
ホットキュー	81
ホットキューを設定する	81
ホットキューから再生する	82
ホットキューを削除する	82
ホットキューを呼び出す	82
ホットキューバンクリストを使う	83
ビートジャンプ／ループムーブ	85
ビートジャンプ／ループムーブを使う	85
クオンタイズ（デッキ用）	86
クオンタイズを使う	86
ビートシンク	87
ビートシンクを使う	87

インスタントダブルスを使う	88
ビートグリッド	89
ビートグリッドを調整する	89
キーシンク	90
キーシンクを使う	90
キーシフト	91
キーシフトを使う	91
音声出力	92
チャンネルセクション／マスターセクション	92
音声を出力する	94
チャンネル音声の音質を調整する	95
フェーダーを設定する	95
音声モニター	97
ヘッドホンセクション	97
ヘッドホンで音声をモニターする	97
BOOTH セクション	98
BOOTH モニターを使う	98
マイク	99
MIC セクション	99
マイクを使う	100
マイクのハウリングを低減する（FEEDBACK REDUCER）	101
ZONE	102
ZONE セクション	102
ZONE を使う	103
SOUND COLOR FX	104
SOUND COLOR FX セクション	104
SOUND COLOR FX を使う	105
SOUND COLOR FX の種類と設定方法	106
BEAT FX	108

BEAT FX セクション	108
BEAT FX を使う	110
BPM を手動で設定する (TAP モード)	111
クオンタイズを使う (エフェクト用)	112
BEAT FX の種類と設定方法	113
BEAT FX BANK に BEAT FX を登録する	118
SMOOTH ECHO	119
SMOOTH ECHO セクション	119
SMOOTH ECHO を使う	120
DJ ソフトウェアを使う	122
DJ ソフトウェアを操作する	122
設定	124
設定を変更する	124
UTILITY 設定項目	125
無線 LAN (Wi-Fi®) 接続	132
Bluetooth® 接続	133
SHORTCUT 画面から設定を変更する	135
SHORTCUT 画面の設定項目	136
記録メディア (USB) から MY SETTINGS を読み込む	138
スペック	139
仕様	139
その他	142
故障かな?と思ったら	142
液晶画面について	144
商標および登録商標について	145
著作権	146

はじめに

本書の見かた

- このたびは、Pioneer DJ 製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本書と、本機に付属している「クイックスタートガイド」および「使用上のご注意」を必ずお読みください。すべて、この製品の使用前にご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書では、製品本体、PC/Mac 画面に表示されるメニュー名、ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。(例：[ファイル]、[CUE] ボタン)
- 本書で説明しているソフトウェアの画面と仕様、およびハードウェアの外観と仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書で説明している手順については、OS のバージョン、ウェブブラウザの設定などにより記載の動作と異なる場合があります。
- 本書で説明しているソフトウェアの画面の言語が、実際の画面の言語と異なる場合があります。

付属品を確認する

- 電源コード×1
- 保証書（一部の地域）*1×1
- クイックスタートガイド×1
- 使用上のご注意×1

*1 欧州向け製品のみ。（日本向け、北米地域は「使用上のご注意」に記載されています。）

マニュアルを閲覧する

❖ rekordbox イン트로ダクション、操作説明書

「イン트로ダクション」は、rekordbox のセットアップ方法を記載しています。

「操作説明書」は、rekordboxの操作方法を記載しています。

下記のrekordboxサイトをご確認ください。

rekordbox.com/manual

❖ Serato DJ Pro ソフトウェアマニュアル

下記のSerato DJサイトをご確認ください。

serato.com/dj/pro/downloads

本機の概要

システム概要

対応ソース

本機は以下のソースに対応しています。

- － USB デバイス
- － PC/Mac (15 ページ)

❖ USB デバイスについて

USB デバイスは、以下に対応しています。

フォルダー階層	最大 8 階層まで (8 階層を超えるフォルダーに含まれているファイルは再生できません。)
最大フォルダー数	無制限 (1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるフォルダーは表示できません。)
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダー内で、10 000 を超えるファイルは表示できません。)
対応ファイルシステム	FAT16、FAT32、exFAT、HFS+ (NTFS には対応していません。)

- USB マスストレージクラスの USB デバイスに保存されている楽曲ファイルを再生できません。
- フォルダーやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- USB デバイスによっては正常に動作しないことがあります。
- 外付け DVD / CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使用できません。
- 本機と USB デバイスを接続する場合は、USB ハブは使用できません。
- 本機との接続により、お客様が USB デバイスに保存したデータが損失、またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本機の USB デバイス挿入口に許容量以上の電流が流れると、USB デバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すには、本機に接続された USB デバイスを取り外してください。また、過電流が検出された USB デバイスは使用しないでください。
上記の方法で正常な状態に戻らない（通信しない）ときは、本機の電源を入れ直してください。
- USB デバイスに複数のパーティションを設定しているときは、最初のパーティションのみ使用できます（rekordbox のライブラリ情報が含まれている場合は、rekordbox のライブラリ情報が格納されているパーティションが優先されます）。
- フラッシュカードリーダー搭載の USB デバイスは、正常に動作しないことがあります。

対応ファイルフォーマット

本機は以下のフォーマットの楽曲ファイルに対応しています。

種類	拡張子	フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング 周波数
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3		32 ~ 320 kbps	
AAC	.m4a、 .aac、 .mp4	MPEG-4 AAC LC MPEG-2 AAC LC	16 bit	16 ~ 320 kbps	44.1 kHz、 48 kHz
WAV	.wav	WAV			
AIFF	.aif、 .aiff	AIFF			44.1 kHz、 48 kHz、 88.2 kHz、 96 kHz
Apple Lossless	.m4a	ALAC	16bit、24bit	—	
FLAC	.flac、 .fla	FLAC			

- 対応フォーマットのファイルでも再生できないことがあります。

タグ情報

楽曲ファイルのID3タグ（v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0）またはメタタグから、タグ情報を読み込むことができます。

楽曲ファイルのアートワーク

楽曲ファイルには、JPEG形式（拡張子：“jpg”、“jpeg”）のアートワーク画像を追加できます。800 x 800 ピクセルより大きいサイズの画像は表示できません。

文字表示

Unicode以外のローカルコードの文字（トラック名など）を表示したいときは、[Language]の設定を変更してください（130 ページ）。

rekordbox

rekordbox は楽曲管理とDJパフォーマンスができるDJアプリケーションです。

- rekordbox の楽曲管理機能を EXPORT モードと呼びます。EXPORT モードで管理された楽曲ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れたDJ パフォーマンスを実現できます。
- rekordboxのDJパフォーマンス機能を PERFORMANCE モードと呼びます。本機を rekordbox がインストールされたPC/Macに接続することで、サブスクリプションプランに契約していなくてもPERFORMANCEモードの機能を使用することができます。この仕組みを Hardware Unlock と呼びます。
- Hardware Unlock の対象機能については、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com

- rekordbox ソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、rekordbox ソフトウェアをダウンロードしてください。

rekordbox.com

- rekordbox の最新の動作環境、互換性、および対応 OS に関する情報は、下記のサイトを参照してください。

rekordbox.com/system

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC/Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でrekordboxを使用してください。

デバイスライブラリ プラス

rekordbox for Mac/Windows の環境設定のデバイスのライブラリ設定で、デバイスライブラリ プラスを選択する必要があります。

- デバイスライブラリ プラスについては、下記のサイトからFAQを参照してください。

rekordbox.com/support/faq/

モバイルデバイス

rekordbox for iOS/Android がインストールされているモバイルデバイスを接続すると、rekordbox for iOS/Android で管理している楽曲ファイルを本機で再生できます。

- rekordbox for iOS/Android との接続については、下記のサイトから FAQ を参照してください。

iOS:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units/#faq-q100037

Android:

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units-android/#faq-q110039

- 本機では ver.4.0.0 以降で搭載されている DJ パフォーマンス用の機能は使用できません。下記の画面で **「CDJ/XDJ と接続」** を選択して PRO DJ LINK 接続で请使用してください。



PRO DJ LINK

PRO DJ LINKには、記録メディア（USB）を使用する「USB Export」と、rekordboxがインストールされているPC/Macを使用する「rekordbox LINK EXPORT」があります。

🔌 接続：「PRO DJ LINK接続」（43 ページ）

Serato DJ Pro

Serato DJ Proは、Serato 社製のDJソフトウェアです。

Serato DJ Proソフトウェアは本製品には付属されていません。下記のサイトにアクセスして、Serato DJ Proソフトウェアをダウンロードしてください。

serato.com

- Serato DJ Proの最新の動作環境、互換性、および対応OS に関する情報は、下記のサイトを参照してください。

serato.com/dj/pro/downloads

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- PC/Macの省電力設定などによっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型のPC/Macでは、AC電源を接続するなど、高パフォーマンス設定でSerato DJ Pro を使用してください。

PC/Mac の準備

本機にPCの音声を入力する場合は、お使いのPCにあらかじめ下記のソフトウェアをインストールしてください。Macをお使いの場合は、専用オーディオドライバーソフトウェアおよびrekordbox for Windows USB 接続 (LINK EXPORT) ドライバーソフトウェアのインストールは必要ありません。

- ー 専用オーディオドライバーソフトウェア：本機にPCの音声を入力するためのドライバーソフトウェアです。専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティも同時にインストールされます (17 ページ)。
- ー rekordbox for Windows USB 接続 (LINK EXPORT) ドライバーソフトウェア：rekordbox for Windows と本機を USB 接続 (LINK EXPORT) するためのドライバーソフトウェアです。
インストールの方法については、下記のPioneer DJサイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- 最新の動作環境、互換性、および対応OSに関する情報は、下記のPioneer DJサイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- 動作環境を満たしているすべての機器における動作を保障するものではありません。
- 1台のPC/Macに、本機を複数台接続した場合の動作は保証しません。
- 専用オーディオドライバーソフトウェアがインストールされていないPCを本機に接続すると、環境によってはPCにエラーが発生することがあります。
- お使いのPC/Mac上のソフトウェアとの組み合わせによっては、動作に不具合が発生することがあります。

専用オーディオドライバースoftwareのインストール

❖ インストールについてのご注意

- インストールする前に、本機の電源をオフにし、本機とPCを接続しているUSB ケーブルを取り外してください。
- 専用オーディオドライバースoftwareをインストールする前に、PC上のすべてのアプリケーションを終了してください。
- 専用オーディオドライバースoftwareをお使いのPCにインストールするには、管理者権限が必要です。
- インストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- インストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。
- インストールが完了するまでは、本機とPCを接続しないでください。
- すべてのPC環境において動作保証するものではありません。

専用オーディオドライバースoftwareを入手する

1 下記のサイトにアクセスする

pioneerdj.com/support/

2 [ソフトウェア更新情報] をクリックする

3 [オールインワンDJ システム] カテゴリー内の [OPUS-QUAD] をクリックする

4 [Drivers] をクリックする

5 [ダウンロードリンク] をクリックして、ファイルを保存する

- お使いのPC専用のオーディオドライバースoftwareをダウンロードしてください。

専用オーディオドライバソフトウェアをインストールする

- 1 ダウンロードした専用オーディオドライバソフトウェアを解凍する
 - “OPUS-QUAD####.exe.zip” を解凍してください（#は専用オーディオドライバソフトウェアのバージョン表示）。
- 2 インストールファイルをダブルクリックする
 - “OPUS-QUAD_#.###.exe” をダブルクリックしてください（#は専用オーディオドライバソフトウェアのバージョン表示）。
- 3 「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読み、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意するときは、[同意する] にチェックを入れて[OK] をクリックする
 - 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しないときは、[キャンセル] をクリックして、インストールを中止してください。
- 4 画面の指示にしたがって、インストールする

設定ユーティリティを使う

PCに専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールすると、設定ユーティリティを使って以下の内容を確認および設定できます。

- ー バッファサイズを調整する（Windows ASIO使用時）（19 ページ）
- ー 専用オーディオドライバーソフトウェアのバージョンを確認する（20 ページ）

設定ユーティリティを表示する

❖ Windows 11 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから [すべてのアプリ] → [Pioneer] → [OPUS-QUAD 設定ユーティリティ] をクリックする

❖ Windows 10 をお使いの場合

- 1 スタートメニューから [Pioneer] → [OPUS-QUAD 設定ユーティリティ] をクリックする

バッファサイズを調整する（Windows ASIO 使用時）

- 本機を既定のオーディオデバイスとして利用しているアプリケーション（DJソフトウェアなど）が起動している場合は、終了してからバッファサイズを調整してください。

🔧 「設定ユーティリティを表示する」（18 ページ）

1 [ASIO] タブをクリックする

2 スライダーでバッファサイズを調整する

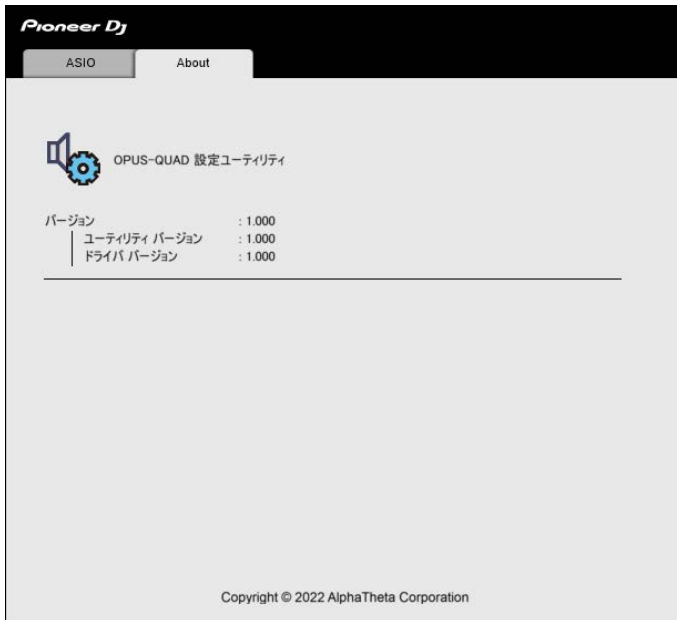


- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落（音とぎれ）などは発生しにくくなりますが、音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが増大します。

専用オーディオドライバソフトウェアのバージョンを確認する

☐ 「設定ユーティリティを表示する」 (18 ページ)

1 [About] タブをクリックする



CloudDirectPlay

CloudDirectPlay を利用すると、クラウドストレージにアップロードした楽曲ファイルを本機にロードし、再生することができます。

- 楽曲ファイルをクラウドストレージへアップロードするには、Cloud Library Syncを使用します。クラウドストレージに楽曲ファイルをアップロードすると、お使いのPC/Macやモバイルデバイス、または本機に、アップロードした楽曲ファイルをロードして再生できるようになります。
- Cloud Library Syncについては、Cloud Library Sync操作ガイドを参照してください。

rekordbox.com/manual

クラウドを利用した楽曲管理などについては、下記のサイトのFeatures ページも参照してください。

rekordbox.com

❖ rekordboxバージョン

本機でCloudDirectPlayを使用するには、最新バージョンのrekordboxをインストールしてください。

❖ サブスクリプション

Freeプランを含むすべてのプランで利用できます。

- プランの詳細については、下記のサイトのプランページを参照してください。

rekordbox.com

❖ クラウドストレージサービス

CloudDirectPlayでは、Cloud Library Syncで利用しているクラウドストレージサービスを利用します。

- Cloud Library SyncとCloudDirectPlayはDropboxに対応しています。
- 詳細については、Cloud Library Sync 操作ガイドを参照してください。

rekordbox.com/manual

❖ 回線速度

ライブラリの同期や楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。CloudDirectPlayを使用するには、20 Mbps以上の回線速度を推奨します。

❖ 個人利用について

CloudDirectPlayでは、個人の複数のPC/Macやモバイルデバイス、本機で同じライブラリを利用できます。複数人で同じライブラリを共有することはできません。

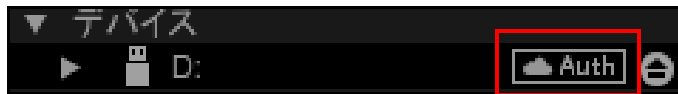
CloudDirectPlayをはじめる

- 1 Mac/Windows 用のrekordboxで、画面右上の[MY PAGE]をクリックする
[MY PAGE] ウィンドウが開きます。
- 2 [LIBRARY SYNC] タブをクリックする
- 3 [Cloud Library Sync] の[他のデバイスとライブラリを同期する] がオンになっていることを確認する
- 4 [rekordbox CloudDirectPlayを利用する] をオンにする



クラウドサーバーで、ライブラリの変換が開始されます。

変換が完了すると、ツリービューのデバイス名の右側に  **Auth** (認証ボタン) が表示され、CloudDirectPlay を利用できます。



- ライブラリ内の楽曲ファイル数によって、ライブラリの変換に時間がかかることがあります。
- ライブラリの変換がエラーになると、[rekordbox CloudDirectPlay を利用する] が自動でオフになります。繰り返し変換エラーが発生する場合は、下記のサイトからサポートへお問い合わせください。
rekordbox.com
- [rekordbox CloudDirectPlay を利用する] をオフにすると、同一アカウントで利用しているすべてのデバイスの認証が解除されます。
- [rekordbox CloudDirectPlay を利用する] をオフにしてからオンにすると、再度ライブラリの変換が実行されます。

CloudDirectPlay の認証用デバイス

本機に楽曲ファイルをロードして再生するには、認証用のUSBデバイスが必要です。

CloudDirectPlay の認証用デバイスとして使用するUSBデバイスをPC/Macに接続して、認証操作を行います。

USB デバイスを認証する

- 1 USB デバイスを PC/Mac に接続する
- 2 ツリービューのデバイス名の右側にある  **Auth** (認証ボタン) をクリックする



デバイスの認証が完了すると、[ Auth]（認証ボタン）が（認証済みアイコン）に変わります。

USB デバイスの認証を解除する

1 ツリービューのデバイス名の右側にある（認証済みアイコン）をクリックする

認証が解除されます。

- USB デバイスが、rekordbox で利用しているアカウントと異なるアカウントで認証されている場合は、アカウントを切り替えてから認証を解除してください。
- USB デバイスが他人のアカウントで認証されている場合は、以下のいずれかの方法で認証を解除してください。
 - ー 認証した本人の PC/Mac に USB デバイスを接続して認証を解除する
 - ー 認証した本人の PC/Mac から Web サイトにアクセスして認証を解除する（24 ページ）

Web サイトでデバイスの認証を解除する

認証済みの USB デバイスを紛失した場合などは、Web サイトでデバイスの認証を解除することができます。

1 Mac/Windows 用の rekordbox で、画面右上の [MY PAGE] をクリックする

[MY PAGE] ウィンドウが開きます。

2 [LIBRARY SYNC] タブをクリックする

3 「認証したデバイスを紛失した場合」をクリックする



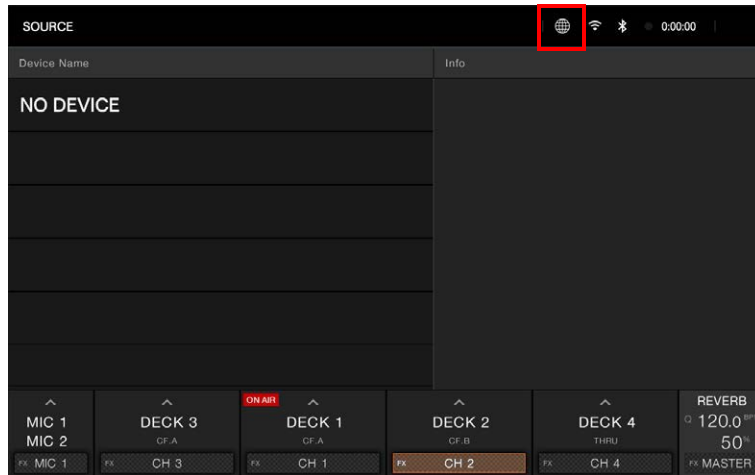
お使いのブラウザにWebサイトが表示されます。

4 Webサイトの指示にしたがって、デバイスの認証を解除する

- ほかのアカウントの認証は解除できません。認証を解除したいデバイスのアカウントに切り替えてから実行してください。

インターネット接続を確認する

CloudDirectPlay が利用可能なときは、本機の [SOURCE] 画面にインターネット接続アイコンが表示されます。



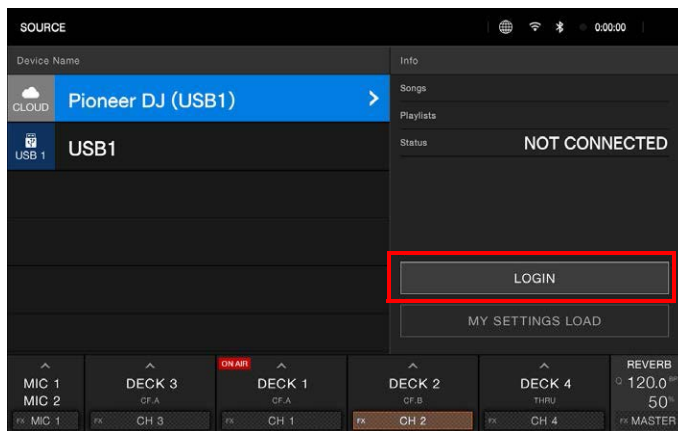
-  (グレー) が表示されているときは、CloudDirectPlay を利用できません。ネットワーク接続を確認してください。

CloudDirectPlayへログインする

1 CloudDirectPlayの認証用USBデバイスを本機に接続する

有効な認証用デバイスを接続すると、[SOURCE] 画面にUSBデバイス名が表示されます。

2 認証用USBデバイスの情報表示部の [LOG IN] をタッチする



CloudDirectPlay が利用可能になります。

CloudDirectPlay からログアウトする

1 [SOURCE] 画面で、認証用USBデバイスの情報表示部の [LOG OUT] をタッチする

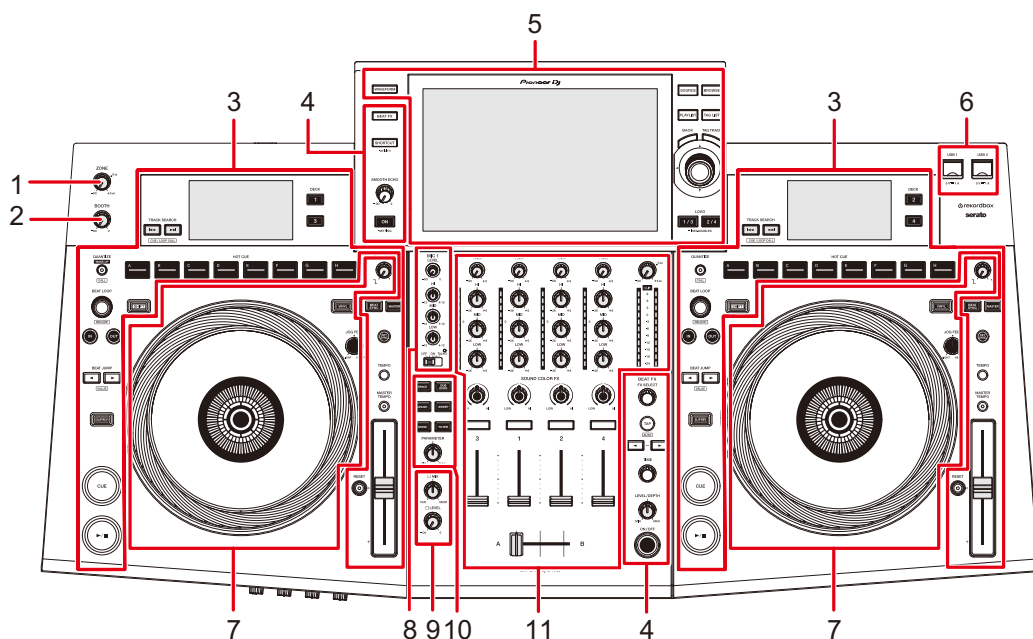
CloudDirectPlay による楽曲ファイルの再生

[SOURCE] 画面で CloudDirectPlay を選択しているときは、クラウドストレージにアップロードされている楽曲ファイルを本機のブラウザ画面から利用することができます。

- 楽曲ファイルのロードにかかる時間は、お使いのインターネット回線の速度によって異なります。ロードの進行状況は、WAVEFORM 画面の全体波形に表示されます。
- 以下の再生機能は、CloudDirectPlay からロードした楽曲ファイルでのみ使用できます。
 - － メモリーキュー／ループ
 - － ホットキュー／ループポイント
- 楽曲ファイルはトラックリストから 1 つずつロードするため、以下の機能は使用できません。
 - － TRACK SEARCH
 - － Play Mode の Continue
- CloudDirectPlay では、以下の機能は使用できません。
 - － TOUCH Preview
 - － HOT CUE BANK LIST
 - － INTELLIGENT PLAYLIST
- CloudDirectPlay へ接続中は、同一アカウントで利用しているほかの CloudDirectPlay や Cloud Library Sync で変更した楽曲情報は反映されません。変更した内容を反映するには、CloudDirectPlay にログインしなおしてください。

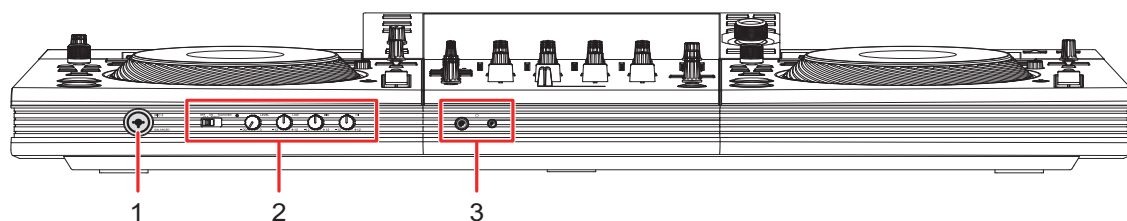
各部の名称

コントロールパネル



1. **ZONE LEVEL** ノブ (102 ページ)
2. **BOOTH LEVEL** ノブ (98 ページ)
3. **デッキセクション** (64 ページ)
4. **BEAT FX／SMOOTH ECHO** セクション (108 ページ、119 ページ)
5. **ブラウズセクション、本体表示部** (32 ページ、49 ページ)
6. **USB** セクション (47 ページ)
7. **ジョグセクション** (70 ページ)
8. **MIC** セクション (99 ページ)
9. **ヘッドホンセクション** (97 ページ)
10. **SOUND COLOR FX** セクション (104 ページ)
11. **チャンネルセクション／マスターセクション** (92 ページ)

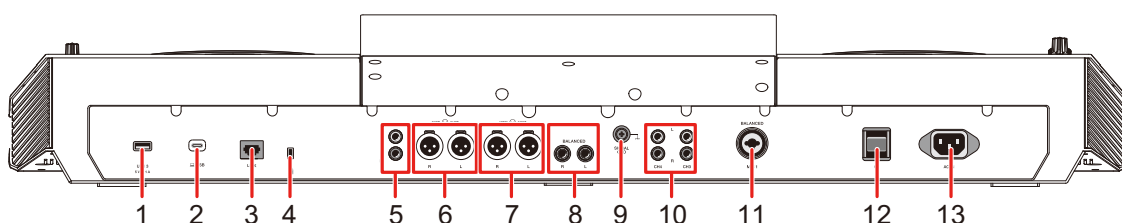
本体フロント部



1. **MIC 2端子 (XLRまたは1/4" / 6.35 mm、TRS)** (100 ページ)
2. **MIC セクション** (99 ページ)
3. **PHONES 端子** (97 ページ)

ヘッドホンはどちらか一方の端子 (1/4" ステレオジャックまたは3.5 mm ステレオミニジャック) に接続してください。両方の端子を同時に使用すると、音質が悪くなったり、音量が小さくなったりする場合があります。

本体リア部



1. **USB 3 デバイス挿入口** (47 ページ)
 - USB ケーブルを使用する場合は、2 m 以下のケーブルを使用してください。
2. **USB 端子** (44 ページ)

PC/Mac と接続します。

 - 接続には、2 m 以下の USB ケーブルを使用してください。
3. **LINK 端子** (45 ページ)

rekordbox がインストールされている PC/Mac の LAN 端子などと接続します。

 - 有線 LAN の接続には、CAT5e 以上の STP ケーブルを使用してください。
4. **ケンジントロック装着用穴**

盗難防止用のワイヤーロックを装着します。
5. **MASTER 2 端子 (RCA)**

パワーアンプなどのアナログ入力端子と接続します。

6. MASTER 1 端子 (balanced XLR)

パワーアンプやパワースピーカーなどのアナログ入力端子と接続します。

- 必ずバランス出力として使用してください。XLR-RCA変換ケーブル(変換アダプター)などを使ってアンバランス入力(RCAなど)へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。
- ほかの製品の電源コードを接続しないように注意してください。
- ファンタム電源が供給できる端子を接続しないでください。
- アンバランス入力(RCAなど)の接続には、[MASTER 2] 端子を使用してください。

7. ZONE 端子 (balanced XLR) (102 ページ)

ZONE チャンネル用の出力端子です。

- 必ずバランス出力として使用してください。アンバランス入力へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

8. BOOTH 端子 (1/4" / 6.35 mm、TRS) (98 ページ)

BOOTH モニター用の出力端子です。

- 必ずバランス出力として使用してください。アンバランス入力へ接続すると、音質が悪くなったり、ノイズが発生することがあります。

9. SIGNAL GND 端子

ターンテーブルのアース線を接続します。ターンテーブル接続時の雑音を低減します。

10. LINE / PHONO 端子 (RCA)

マルチプレーヤーやラインレベルの出力機器、またはフォノレベル (MM カートリッジ用) の出力機器を接続します。

- 入力する信号により大音量が出力される場合があります。入力する信号と設定が合っているかを確認してください。

11. MIC 1 端子 (XLR または 1/4" / 6.35 mm、TRS) (100 ページ)

12. 〇ボタン

本機の電源のオンとオフを切り替えます。

注意

製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらず見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

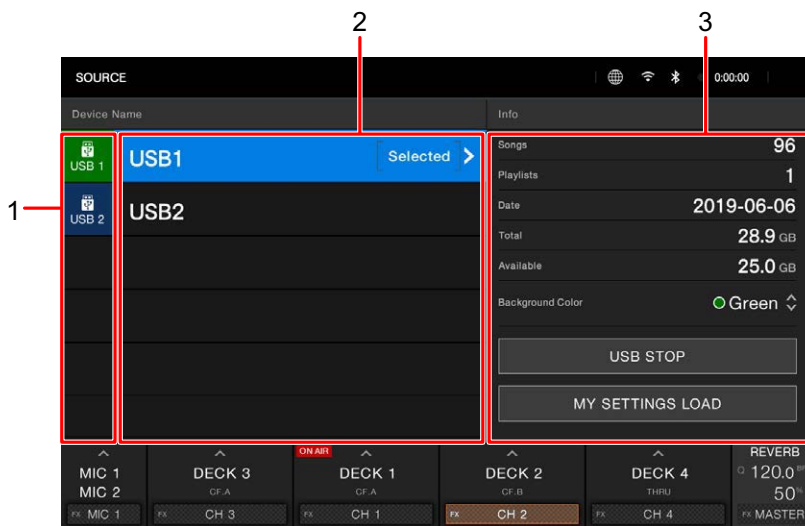
13. AC IN

付属の電源コードで、コンセントと接続します。

本体表示部

SOURCE 画面

[SOURCE] ボタンを押すと、ソース選択画面が表示されます。



1. デバイスアイコン

接続されているデバイスを表示します。

- デバイスに [Background Color] が設定されている場合は、その色で表示します。

2. デバイス名／ステータス表示

デバイス名と、デバイスの選択状態を表示します。

3. デバイス情報

ハイライトされているデバイスの情報を表示します。

- 記録メディア（USB）などが選択されているときは以下を設定できます。
 - － **[MY SETTINGS LOAD]**：選択中の記録メディア（USB）などに保存したUTILITY設定とその他の設定内容を読み出します。MY SETTINGSの設定内容は、[SHORTCUT]画面から呼び出すこともできます（138 ページ）。
 - － **[Background Color]**：バックグラウンドカラーを設定します（rekordbox からエクスポートされた楽曲ファイルや管理データが入っている記録メディア（USB）対象）。画面表示の一部の色を変更します。

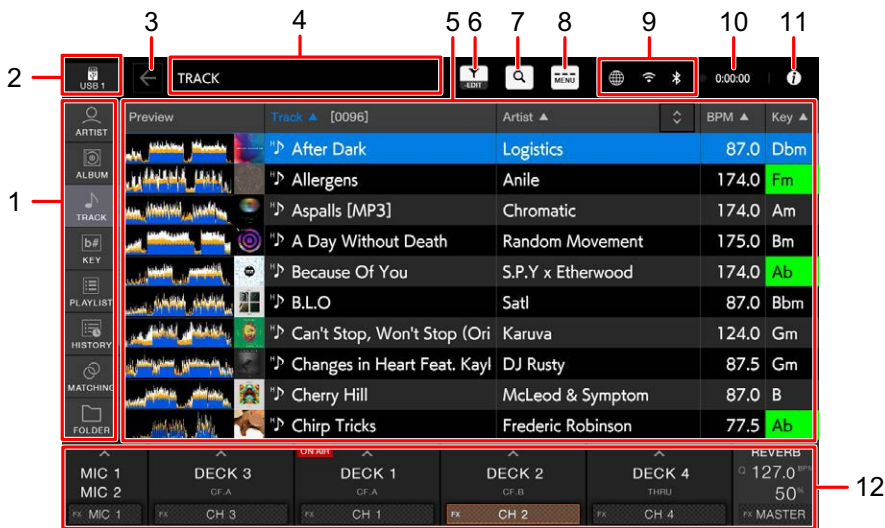
ブラウズ画面

[BROWSE]、[TAG LIST]、[PLAYLIST] ボタンを押すと、ブラウズ画面（トラックリスト）が表示されます。

記録メディア（USB）や CloudDirectPlay、接続された PC/Mac の rekordbox のライブラリをブラウズできます。

- [BROWSE] 画面で、rekordbox のライブラリ情報が入っていない記録メディア（USB）をブラウズしたときは、フォルダーとトラックを階層構造でリスト表示します。

[BROWSE] ボタンを押したとき



1. カテゴリー

カテゴリーを表示します。

- カテゴリーの種類は、rekordbox の [環境設定] で設定できます。

2. デバイスアイコン

[SOURCE] 画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます（32 ページ）。

3. ← (BACK)

上の階層を表示します。

4. 上位階層表示

表示されている項目の上位フォルダーまたはデバイス名を表示します。

5. トラックリスト

選択している階層やプレイリスト内の Preview 波形、アートワークおよびトラックリストを表示します。

- **[Preview]** カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます (54 ページ)。
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます (サブカラムの種類は、rekordbox の **[環境設定]** で設定できます)。

6. **(TRACK FILTER / EDIT)**

TRACK FILTER を使ってトラックを探します (53 ページ)。

7. **(SEARCH)**

[SEARCH] 画面を表示します (51 ページ)。

8. **MENU**

ミキサー情報表示に **[MENU]** が表示されます。

9. **接続状態アイコン**

-  (インターネット接続アイコン) : インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン) : Wi-Fi接続の状態を表示します。
-  (Bluetooth接続アイコン) : Bluetooth接続の状態を表示します。

10. **REC タイマー**

録音 (MASTER REC) を開始すると、録音時間が表示されます (69 ページ)。

11. **(INFO)**

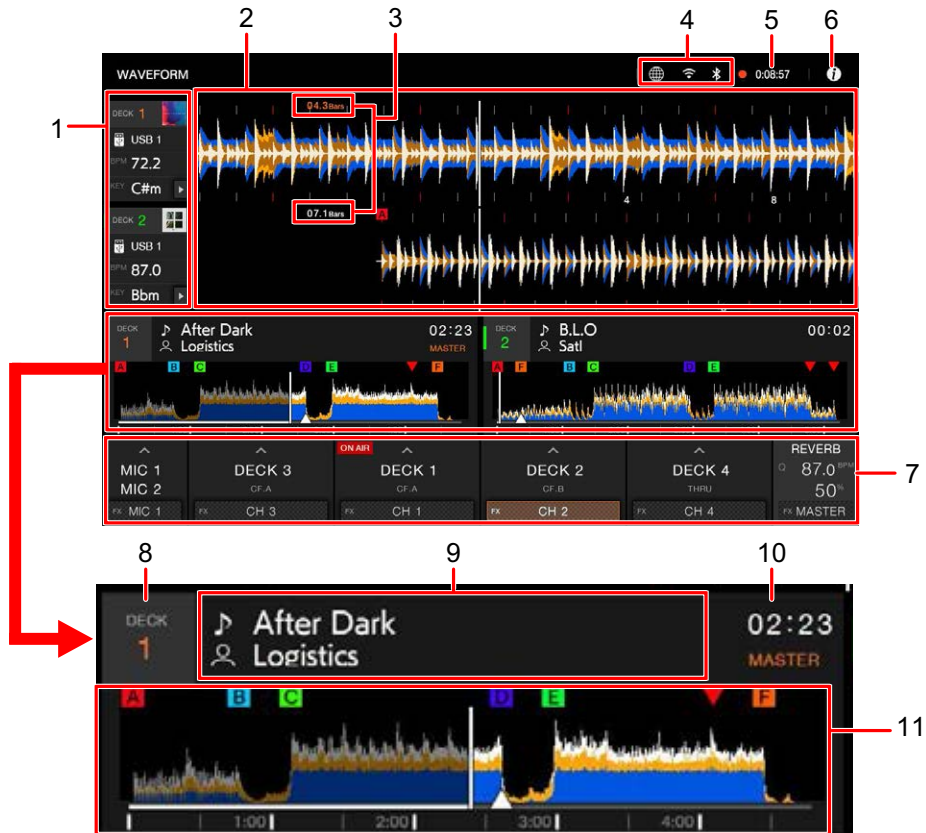
カーソルで選択しているトラックの詳細情報を表示 / 非表示します。

12. **ミキサー情報表示**

マイク、チャンネル、エフェクトなどの情報を表示します。

再生画面（WAVEFORM 画面）

❖ MAIN DISPLAY



1. デッキ情報

デッキにロードされているトラックの以下の情報を表示します。

- デバイス（トラックの格納先）
- アートワーク：アートワークを表示します。
- BPM（デッキ用）：再生しているトラックの BPM（Beats Per Minute。1 分間の拍数）を表示します。測定値が当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。測定方法などが異なるためであり、故障ではありません。
- キー：楽曲のキー（調）を表示します。
- ▶（KEY SHIFT）（91 ページ）

2. 拡大波形

rekordbox で解析した拡大波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。

- ZOOM モード：上下の拡大波形を同時に拡大／縮小します。

- GRID ADJUSTモード: アクティブデッキにロードされているトラックのビートグリッドを調整します (89 ページ)。

- **[SOURCE]** 画面の **[MY SETTINGS LOAD]**、または **[SHORTCUT]** 画面の **[Waveform Color]** で波形の色を変更できます (136 ページ)。

3. ビートカウントダウン

現在の再生位置に一番近いメモリーキューポイントまでの小節数、拍数を表示します。

4. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン): インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン): Wi-Fi接続の状態を表示します。
-  (Bluetooth接続アイコン): Bluetooth接続の状態を表示します。

5. REC タイマー (69 ページ)

録音 (MASTER REC) を開始すると、録音時間が表示されます。

6. (INFO)

デッキにロードされているトラックの詳細情報を表示／非表示します。

7. ミキサー情報表示

- マイク情報エリア (99 ページ)
- チャンネル情報エリア (92 ページ)
- **[ON AIR]**: **[MASTER 1]**、**[MASTER 2]** 端子から音声出力が可能なときに表示されます。
- BEAT FX情報エリア (108 ページ)
 - 選択されているBEAT FX (エフェクト名) を表示します (113 ページ)。
 - BEAT FX 用のBPM (Beats Per Minute。1 分間の拍数) を表示します。オートモードのときは自動で検出したBPM を表示します。手動入力モードのときはBPM が緑色で表示され、**[TAP]** が表示されます。
 - BEAT FX 用のクオンタイズ機能がオンで有効のときは **[Q]** 表示が白色で、オンで無効のときはグレーで表示されます (112 ページ)
 - エフェクトに設定されているパラメーター (BEAT、%、msec) を表示します。

8. デッキ番号

9. トラック名／アーティスト名

ロードされているトラック名とアーティスト名を表示します。

- **[Overall Waveform Display]** が **[4deck]** に設定されているときは、トラック名のみ表示されます (129 ページ)。

10. 時間表示 (分、秒、msec)

残り時間または経過時間を表示します。

- 残り時間または経過時間表示は **[SHORTCUT]** 画面の **[Time Mode]** で切り替えることができます (136 ページ)。

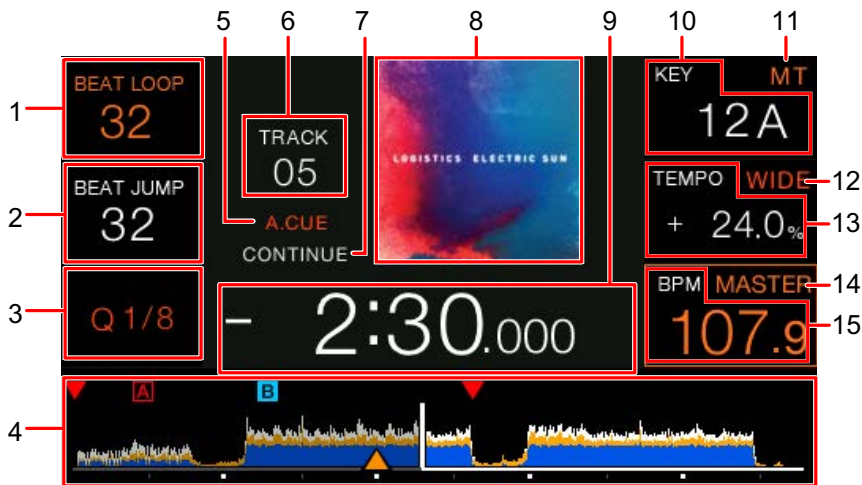
11. 全体波形

rekordbox で解析した全体波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。

波形上の触れた位置から再生を開始できます (66 ページ)。

- 各表示は以下を示します。
 - ー プレーイングアドレス：トラック (1 曲) を棒グラフ (横のライン) で示します。現在の再生位置は、白色の縦線で示します。時間表示が **[TIME]** のときは、グラフの左側から点灯して経過時間を示します。**[REMAIN]** のときは、左側から消灯して残り時間を示します。
 - ー 目盛表示 (30 秒間隔) / Phrase：プレーイングアドレスの下に 30 秒間隔のメモリまたは Phrase を表示します。UTILITY 設定の **[Waveform Divisions]** で表示内容を設定します (129 ページ)。
 - ー メモリーキュー / ループポイント、ホットキュー / ループポイント：波形表示の上部に、楽曲に記録されているメモリーキュー / ループポイント、ホットキュー / ループポイントをマークで表示します。
 - ー キュー / ループポイント：波形表示の下部に、楽曲に設定されているキュー / ループポイントをマークで表示します。
 - ー カウントダウン表示：カウントダウン対象のメモリーキューの位置を表示します。
- **[SOURCE]** 画面の **[MY SETTINGS LOAD]**、または **[SHORTCUT]** 画面の **[Waveform Color]** で波形の色を変更できます (136 ページ)。
- メモリーキュー / ループポイントとホットキュー / ループポイントは、rekordbox で色を設定できます。

❖ DECK DISPLAY



1. ループ拍数表示

ビートループの拍数設定、または実行中のループの拍数を表示します。

2. ビートジャンプ拍数表示

ビートジャンプに設定されている拍数を表示します。

3. Q (デッキ用 QUANTIZE) 表示、クオンタイズ拍数 (86 ページ)

クオンタイズ機能がオンで有効のときは赤色で、オンで無効のときはグレーで表示されます。

- クオンタイズに設定されている拍数は、UTILITY 設定の [Quantize Beat Value (Deck)] または [SHORTCUT] 画面の [Quantize Beat Value] で設定できます (125 ページ、136 ページ)。

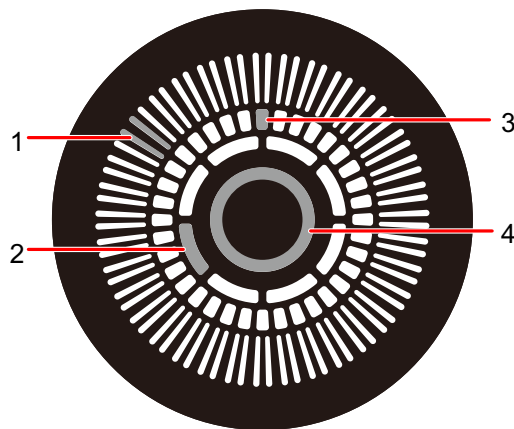
4. 全体波形

rekordbox で解析した全体波形、キューポイント、ループポイント、ホットキューポイントなどを表示します。

- 各表示は以下を示します。
 - プレーイングアドレス：トラック (1 曲) を棒グラフ (横のライン) で示します。現在の再生位置は、白色の縦線で示します。時間表示が [TIME] のときは、グラフの左側から点灯して経過時間を示します。[REMAIN] のときは、左側から消灯して残り時間を示します。残り時間が 30 秒以下になるとグラフが点滅し、15 秒以下になると速く点滅します。
 - 目盛表示 (30 秒間隔)：プレーイングアドレスの下に 30 秒間隔のメモリを表示します。

- ー メモリーキュー／ループポイント、ホットキュー／ループポイント：波形表示の上部に、楽曲に記録されているメモリーキュー／ループポイント、ホットキュー／ループポイントをマークで表示します。
 - ー キュー／ループポイント：波形表示の下部に、楽曲に設定されているキュー／ループポイントをマークで表示します。
 - **[SOURCE]画面の[MY SETTINGS LOAD]、または[SHORTCUT]画面の[Waveform Color]** で波形の色を変更できます（136 ページ）。
 - メモリーキュー／ループポイントとホットキュー／ループポイントは、rekordbox で色を設定できます。
5. **A.CUE表示**（75 ページ）
オートキューがオンのときに表示されます。
6. **トラック番号**
ロードされているトラックの番号（01～999）を表示します。
7. **PLAY MODE表示**
ロードされているトラックの再生方法を表示します。
 - トラックの再生方法は、UTILITY設定の **[Play Mode]** で設定します（126 ページ）。
8. **アートワーク**
9. **時間表示（分、秒、msec）**
残り時間または経過時間を表示します。
 - 残り時間または経過時間表示は **[SHORTCUT]画面の[Time Mode]** で切り替えることができます（136 ページ）。
10. **キー**
楽曲のキー（調）を表示します。
11. **MT表示**
マスターテンポを設定しているときに表示されます。
12. **再生速度可変範囲表示**
元の再生速度に対して、調整できる範囲を表示します（67 ページ）。
13. **再生速度**
TEMPOスライダーの位置にしたがって、数値が変化します。
14. **MASTER表示**
デッキがマスターデッキのときに表示されます。
15. **BPM**
再生しているトラックの BPM（Beats Per Minute。1 分間の拍数）を表示します。
 - 測定値が当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。測定方法などが異なるためであり、故障ではありません。

ジョグ表示



1. 再生位置表示

再生位置を示します。再生中は回転し、一時停止中は停止します。

2. ジョグタッチ検出表示

VINYL モードがオンのときに、ジョグダイヤルの天面を押すと点灯します。

3. キュー／ループ／ホットキューポイント表示

設定されているキューポイント、ループポイント、ホットキューポイントの位置を示します。

4. キューポイントカラー

キューポイントに設定されているカラーを表示します。

画面の基本操作

本体表示部の画面は、スマートロータリーセクターを使って、または画面をタッチして操作します。

❖ スマートロータリーセクターで操作する

以下の操作が可能です。

操作		説明
左右に倒す		ブラウズ画面で波形が表示されているときに左右に倒すと、トラックをロードする前に音声をモニターできます。
上下に倒す		ブラウズ画面で階層が表示されているときに上下に倒すと、階層移動することなく、下の階層のページをスクロールして確認できます。
回す		カーソルを移動し、選択する項目をハイライトします。
押す		項目の選択を決定します。

❖ タッチディスプレイで操作する

以下の操作が可能です。

操作		説明
タッチ		項目の選択を決定します。
	波形部以外	- 階層をタッチすると、下の階層を表示します。 - トラックをタッチすると、トラックメニューを表示します。
	波形部	ブラウザ画面で、全体波形の任意の位置をタッチしている間、タッチした位置からの音声をモニターできます。
フリック		階層を上下にスクロール表示します。

❖ 階層に戻る

1 コントロールパネル上の [BACK] ボタンを押す

1 つ上の階層（前の画面）を表示します。

- [BACK] ボタンを長押しすると、一番上の階層をハイライトします。

接続（基本スタイル）

接続を行う前に、必ず本機の電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

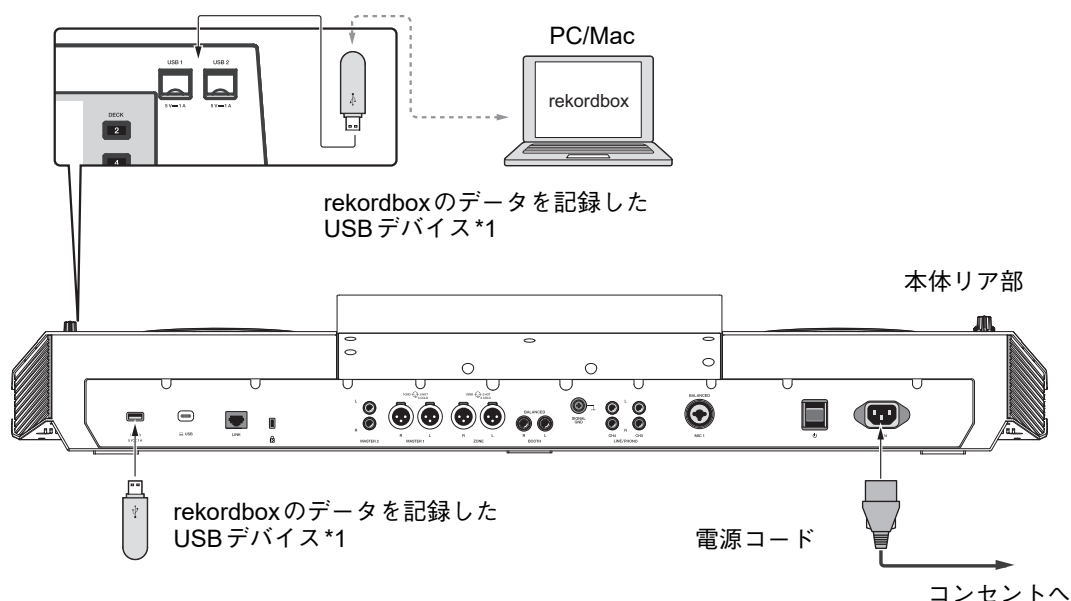
電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。

- 付属の電源コードを使用してください。
- 接続する機器の取扱説明書も参照してください。

PRO DJ LINK 接続

USB Export

USBデバイス（フラッシュメモリー、ハードディスクなど）を使って、rekordboxの楽曲ファイルやデータを本機と受け渡しできます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。



*1 USBケーブルを使用する場合は、2 m以下のケーブルを使用してください。

rekordbox LINK EXPORT

rekordboxがインストールされているPC/Macと本機をLAN ケーブル（CAT5e）、USB ケーブル、または無線LAN（Wi-Fi）ルーターを使って接続すると、rekordbox内のトラックを選曲し、再生できます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューなどの情報を使って演奏できます。

- PCをUSBケーブルで接続して使用するには、あらかじめrekordbox for Windows USB 接続（LINK EXPORT）ドライバーソフトウェアをインストールしてください（15 ページ）。
- rekordbox for iOS/Android との接続については、下記のサイトからFAQを参照してください。

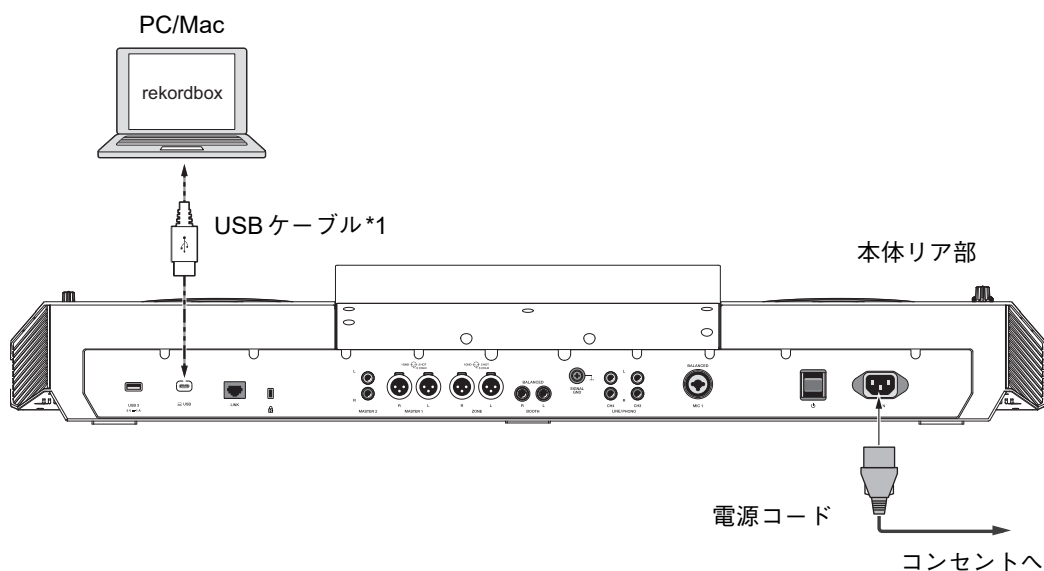
iOS：

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units/#faq-q100037

Android：

rekordbox.com/ja/support/faq/connecting-to-dj-units-android/#faq-q110039

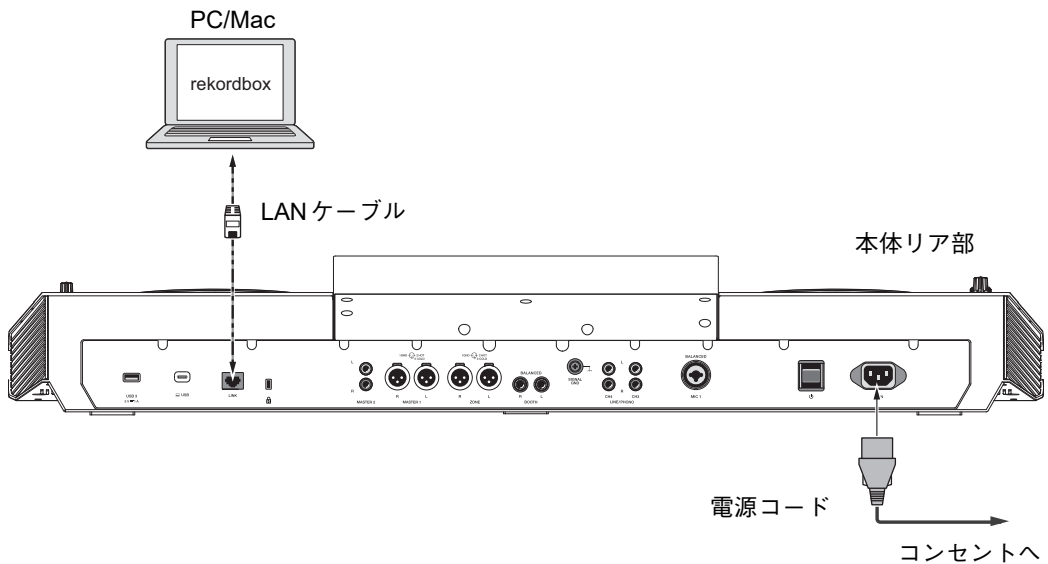
❖ USB ケーブルを使うとき



*1 接続には、2 m以下のUSBケーブルを使用してください。

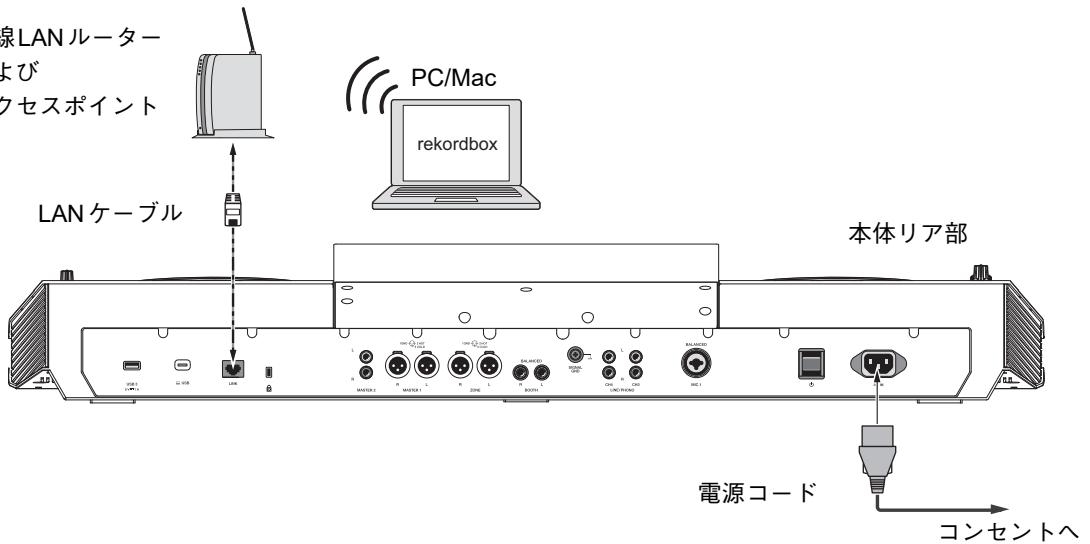
- USBケーブルは、まっすぐ挿入、または引き抜いてください。上下左右方向に力を加えないでください。

❖ LANケーブルを使うとき



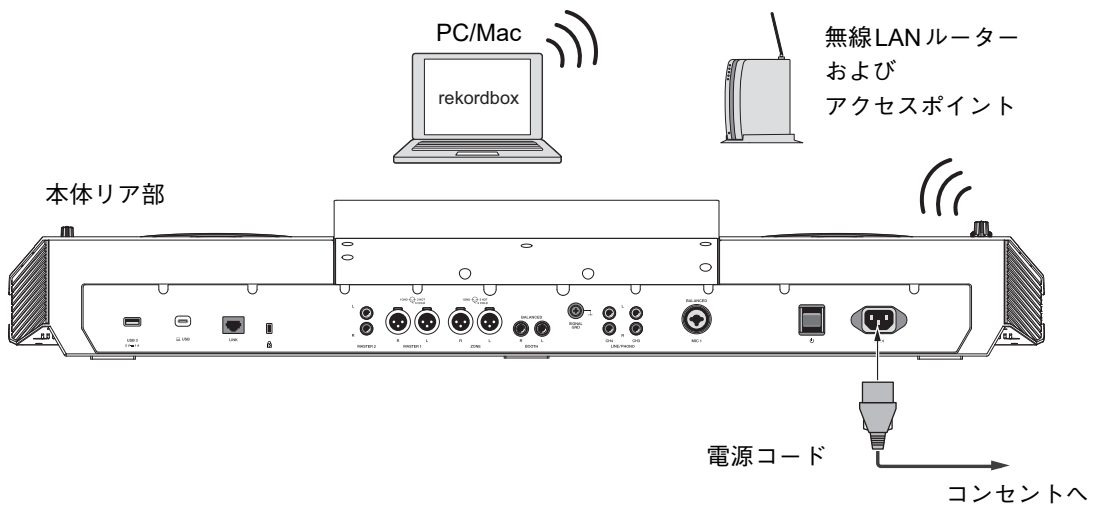
❖ 無線LANルーターおよびアクセスポイントを使うとき

LANケーブルを使うとき：



接続（基本スタイル）

内蔵無線（Wi-Fi）を使うとき：

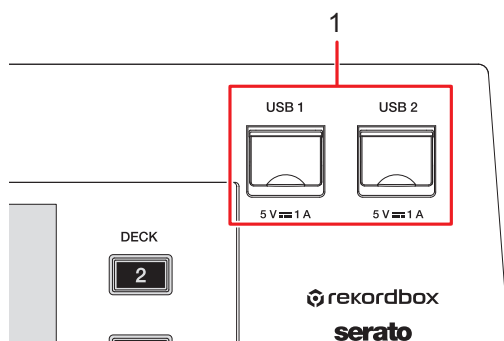


- CloudDirectPlayを利用するには、PRO DJ LINK（無線LANルーター）をインターネットへ接続してください。

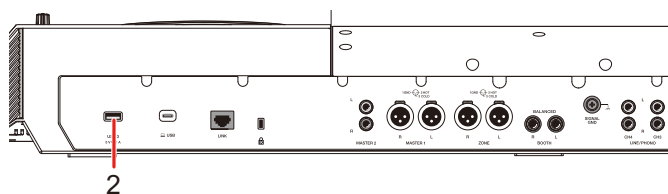
メディアの挿入と取り外し

USB セクション

コントロールパネル：



本体リア部：



1. USB 1、USB 2 デバイス挿入口
2. USB 3 デバイス挿入口

USB デバイス

- **[USB STOP]** を使用しないで USB デバイスを取り外したり、USB 接続中に本機の電源をオフにしないでください。本機の管理データが消去されたり、USB デバイスを読み込めなくなることがあります。
- USB 端子カバーを強く押したり、引っ張ったりしないでください。破損の原因となります。

USB デバイスを接続する

- 1 USB 端子に、USB デバイスが止まるまでゆっくりと差し込む

USB デバイスを取り外す

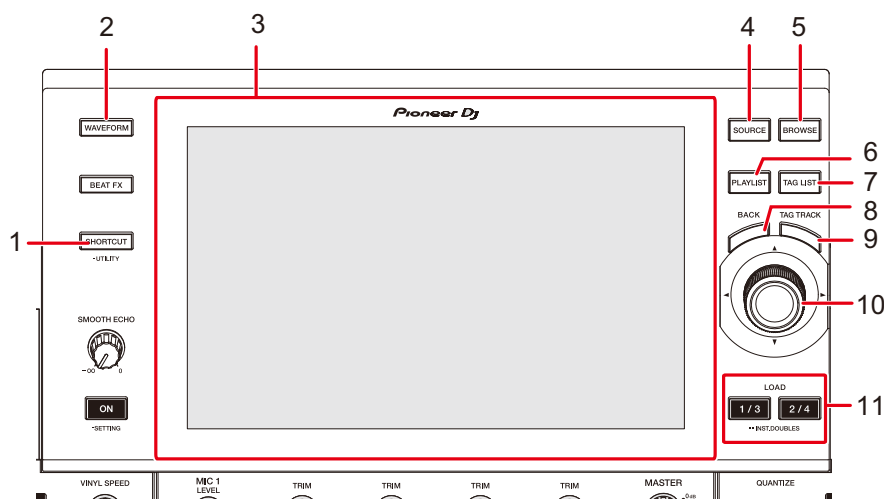
- 1 **[SOURCE]** ボタンを押す

[SOURCE] 画面に、本機に接続されているデバイスが表示されます（32 ページ）。

- 2 取り外すデバイスを選択して、**[USB STOP]** をタッチする
- 3 選択したデバイスが非表示に変わってから、USB デバイスを垂直に引き抜く

選曲

ブラウズセクション



1. **SHORTCUT** ボタン (135 ページ)
2. **WAVEFORM** ボタン
[WAVEFORM] 画面を表示します。
3. **MAIN DISPLAY** (35 ページ)
4. **SOURCE** ボタン
[SOURCE] 画面を表示します。
5. **BROWSE** ボタン
[BROWSE] 画面を表示します。
6. **PLAYLIST** ボタン
[PLAYLIST] 画面を表示します。
7. **TAG LIST** ボタン
[TAG LIST] 画面を表示します。
8. **BACK** ボタン (42 ページ)
9. **TAG TRACK** ボタン
タグリストへトラックを追加または削除します。
10. **スマートロータリーセレクター** (41 ページ)
11. **LOAD 1/3、LOAD 2/4** ボタン

ソースを選択する

1 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面に、本機に接続されているデバイスが表示されます（32 ページ）。

2 デバイスを選択する

トラックを選択する

ブラウザ画面からトラックを選択する

1 ブラウズ画面を表示する

トラックリストが表示されます。

☐ 「ブラウザ画面」（33 ページ）

2 トラックを選択する

☐ 「トラックをロードする」（55 ページ）

トラックを探す

SEARCH 機能を使って探す

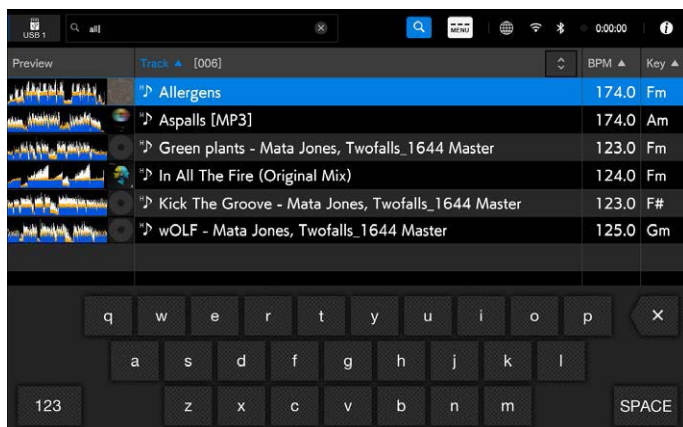
SEARCH機能は、rekordbox のライブラリをブラウズしているときに使用できます。

1 [BROWSE] ボタンを押す

[BROWSE] 画面が表示されます。

2 (SEARCH) をタッチする

SEARCH画面が表示されます。



3 キーボードを使ってキーワードを入力する

入力したキーワードを含むトラック名などが表示されます。

- スペースで区切って、複数のキーワードを指定できます。

ジャンプ機能を使って検索する

ジャンプ機能には、2つのモードがあります。

❖ アルファベットジャンプ

1 アルファベット順表示のリストで、スマートロータリーセクターを長押しする

アルファベットジャンプモードに切り替わり、ハイライトされているトラックまたはカテゴリーの頭文字が表示されます。

- アルファベットジャンプで表示される文字は A ～ Z、0 ～ 9、および一部の記号です。

2 スマートロータリーセクターを回して、表示をスクロールする

表示されている文字が頭文字のトラックまたはカテゴリーにカーソルが移動します。

- 表示されている文字から始まるトラックまたはカテゴリーがない場合は、カーソルは移動しません。

❖ ページジャンプ

1 アルファベット順表示以外のリストで、スマートロータリーセクターを長押しする

ページジャンプモードに切り替わります。

2 スマートロータリーセクターを回して、ページをスクロールする

各ページのリストの最初のトラックにカーソルが移動します。

TRACK FILTER を使って探す

rekordbox でトラックに付加したタグ情報（マイタグ）や BPM、キーなどの情報を使ってトラックを絞り込みます。TRACK FILTER 機能は、rekordbox のライブラリをブラウズしているときに使用できます。

❖ トラックを絞り込む

1 ブラウズ画面を表示する

トラックリストが表示されます。

🔍 「ブラウズ画面」 (33 ページ)

2 (TRACK FILTER / EDIT) をタッチする

現在指定されている条件でトラックが絞り込まれます。

❖ トラックフィルター編集画面で条件を指定する

1 ブラウズ画面を表示する

トラックリストが表示されます。

🔍 「ブラウズ画面」 (33 ページ)

2 (TRACK FILTER / EDIT) をロングタッチする

トラックフィルター編集画面が表示されます。

3 条件を指定します。

- トラックフィルター条件には、トラックに付加したタグ情報（マイタグ）、BPM、KEY、RATING、COLOR を設定することができます。
- チェックボックスにチェックマークを付けると、フィルター条件が有効になります。
- [MASTER DECK] をタッチすると、マスターデッキに設定されているデッキで再生しているトラックのBPMとキーを取り込みます。
- rekordbox でトラックフィルター条件を設定することもできます。
- 条件設定は、記録メディア（USB）ごとにそれぞれ記憶されます。

再生中の楽曲のキー（調）を使って探す

マスターデッキにロードされているトラックのキーと相性が良い楽曲のKEYが緑色に変わります。

- マスターデッキが設定されていない場合は、この機能は利用できません。

ロードする前に音声を確認する（TOUCH Preview）

トラックをロードする前に、音声をモニターできます。

1 ヘッドホンを接続する

- ☐ 「本体フロント部」(30 ページ)

2 トラックリストで波形をタッチする、またはスマートロータリーセクターを左右どちらかに倒す

再生が開始され、ヘッドホンで音声をモニターできます。

- 波形をタッチ、またはスマートロータリーセクターを左右どちらかに倒している間、再生中の音声を出力しながら音声をモニターできます。
- デッキへロードできないトラックはモニターできません。

- ☐ 「ブラウズ画面」(33 ページ)

トラックをロードする

1 トラックリストで、トラックを選択する

☐ 「トラックを選択する」 (50 ページ)

2 [LOAD 1/3] または [LOAD 2/4] ボタンを押す

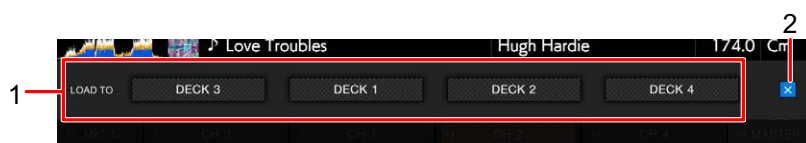
ボタンを押したデッキにトラックがロードされます。

- UTILITY 設定の [Load Lock] が [Lock] に設定されているときは、再生中にほかのトラックをロードできません (125 ページ)。[Unlock] に設定するか、[▶/||] ボタンを押して一時停止してからトラックをロードしてください。
- オートキューがオンのときは、音声開始位置で一時停止状態になります。[▶/||] ボタンを押すと再生を開始します。

トラックメニューを使ってロードする

BROWSE、PLAYLIST、SEARCH、TAG LIST 画面でトラックを選択しているときにスマートロータリーセクターを押すと、トラックメニューが表示されます。

トラックメニューからトラックをロードすることもできます。



1. LOAD TO DECK1～4

指定のデッキにトラックをロードし、再生を開始します。

2. × (キャンセル)

トラックメニューを閉じます。

HISTORY を使う

約 1 分間再生したトラックは、HISTORY（演奏履歴リスト）に記録されます（999 件まで）。

- 本機に記録メディア（USB）を接続すると、記録メディア（USB）内に自動で新しい HISTORY が作成されます。
- 同一のトラックを 2 回以上連続して再生した場合は、HISTORY に記録されないことがあります。
- HISTORY に記録されたトラックは、トラック名などが緑色（再生済み）で表示されます。
- rekordbox を使って HISTORY を元にプレイリストを作成できます。詳しくは、rekordbox for Mac/Windows のユーザーマニュアルを参照してください（8 ページ）。

HISTORY を参照する

1 [BROWSE] ボタンを押す

[BROWSE] 画面が表示されます。

2 カテゴリーで [HISTORY] を選択する

HISTORY リストが表示されます。

HISTORY を削除する

1 HISTORY リストで、削除したい HISTORY を選択して [MENU] をタッチする

削除メニューが表示されます。

2 [DELETE] または [ALL DELETE] を選択する

— [DELETE]：選択している HISTORY が削除されます。

— [ALL DELETE]：すべての HISTORY が削除されます。

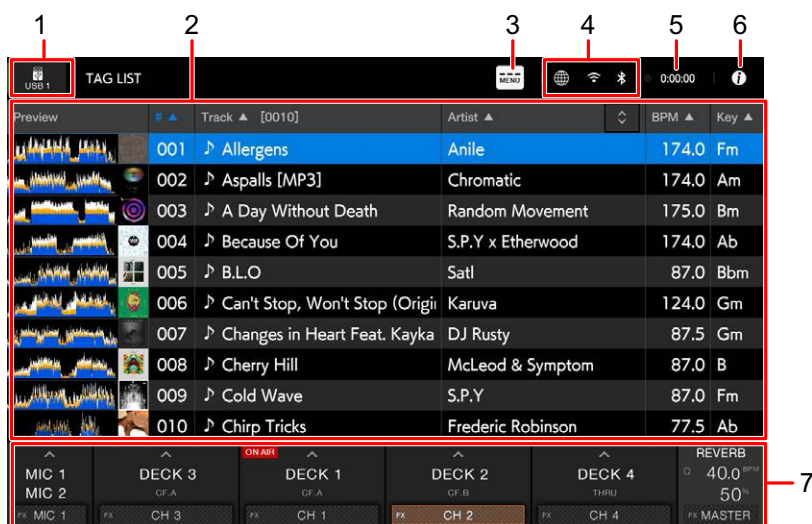
- rekordbox で HISTORY をプレイリストとして取り込むと、取り込まれた HISTORY は記録デバイス（USB）から削除されます。

タグリストを使う

次に再生するトラックやDJシーンに合わせて選んだトラックを、「タグリスト」に登録しておくことができます。

- タグリストは、記録メディア（USB）またはCloudDirectPlayに1つ作成されます。記録メディア（USB）をまたいでトラックをリストに登録することはできません。
- タグリストには、1 記録メディア（USB）当たり 100 トラックまで登録できます。
- 同一フォルダー内の同一トラックを重複して登録することはできません。

タグリスト画面



1. デバイスアイコン

[SOURCE] 画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます（32 ページ）。

2. タグリスト

タグリスト内の Preview 波形、アートワーク、連番およびトラックリストを表示します。

- [Preview] カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます（54 ページ）。
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
- をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます（サブカラムの種類は、rekordbox の [環境設定] で設定できます）。

3. MENU

ミキサー情報表示に [MENU] が表示されます。

4. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン)：インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン)：Wi-Fi接続の状態を表示します。
-  (Bluetooth接続アイコン)：Bluetooth接続の状態を表示します。

5. REC タイマー

録音 (MASTER REC) を開始すると、録音時間が表示されます (69 ページ)。

6. (INFO)

カーソルで選択しているトラックの詳細情報を表示／非表示します。

7. ミキサー情報表示

マイク、チャンネル、エフェクトなどの情報を表示します。

タグリストにトラックを追加する

1 トラックをハイライトする

- フォルダーやプレイリストを選択して、直下に含まれるトラックを一括でタグリストに追加することもできます。

2 [TAG TRACK] ボタンを押す

タグリストに追加されたトラックにはチェックマークが表示されます。

タグリストからトラックを削除する

❖ 個別に削除する (TAG LIST 画面)

1 トラックをハイライトする

2 [TAG TRACK] ボタンを長押しする

タグリストからトラックが削除されます。

❖ 個別に削除する（BROWSE、PLAYLIST、SEARCH画面）

1 トラックをハイライトする

2 [TAG TRACK] ボタンを押す

タグリストからトラックが削除されます。

❖ 一括で削除する

1 [TAG LIST] ボタンを押す

[TAG LIST] 画面が表示されます。

2 [MENU] をタッチする

[MENU] が表示されます。

3 [MENU] の [REMOVE ALL TRACKS] を選択する

タグリストからすべてのトラックが削除されます。

- 再生中のトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次のトラックは再生しません。

タグリストをプレイリストに変換する

タグリストから変換したプレイリストは、**[PLAYLIST]** カテゴリー内にリスト表示されます。

- 記録メディア（USB）または CloudDirectPlay 内に rekordbox のライブラリ情報が保存されていない場合は、タグリストをプレイリストに変換できません。
- タグリストに、rekordbox で管理しているトラックと rekordbox で管理していないトラックが登録されている場合は、rekordbox で管理されているトラックのみプレイリストに変換されます。

1 **[TAG LIST]** ボタンを押す

[TAG LIST] 画面が表示されます。

2 **[MENU]** をタッチする

[MENU] が表示されます。

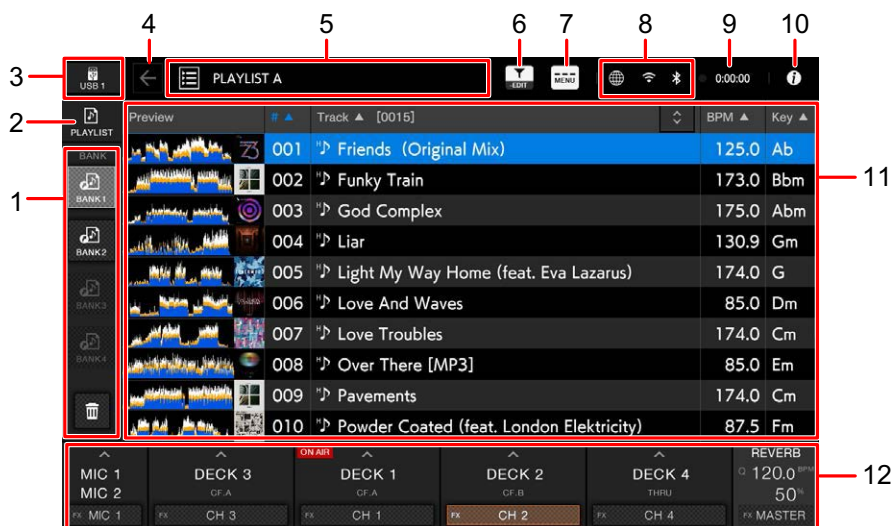
3 **[MENU]** の **[CREATE PLAYLIST]** を選択する

[TAG LIST XXX] という名前のプレイリストに変換されます。

プレイリスト画面を表示する

プレイリスト画面

[PLAYLIST] ボタンを押すとPLAYLISTの内容がリスト表示されます。ブラウザ画面からもPLAYLISTの内容を表示することができます (33 ページ)。



1. プレイリストバンク

プレイリストバンクにプレイリストを登録しておく、階層移動することなくプレイリストを表示することができます (63 ページ)。

2. カテゴリー

[PLAYLIST] カテゴリーを表示します。

3. デバイスアイコン

[SOURCE] 画面で選択したデバイスのアイコンが表示されます (32 ページ)。

4. ← (BACK)

上の階層を表示します。

5. 上位階層表示

6. ⌵ (TRACK FILTER / EDIT)

TRACK FILTERを使ってトラックを探します (53 ページ)。

7. MENU

ミキサー情報表示に [MENU] が表示されます。

8. 接続状態アイコン

-  (インターネット接続アイコン)：インターネット接続の状態を表示します。
-  (Wi-Fi接続アイコン)：Wi-Fi接続の状態を表示します。
-  (Bluetooth接続アイコン)：Bluetooth接続の状態を表示します。

9. REC タイマー

録音 (MASTER REC) を開始すると、録音時間が表示されます (69 ページ)。

10. (INFO)

カーソルで選択しているトラックの詳細情報を表示／非表示します。

11. トラックリスト

プレイリスト内のPreview波形、アートワーク、連番およびトラックリストを表示します。

- **[Preview]** カラムで波形をタッチすると、ロードする前に音声を確認できます (54 ページ)。
- カラムタイトルをタッチして、リストを並べ替えることができます。
-  をタッチするとサブカラムの選択画面が表示され、表示するサブカラムを選択できます (サブカラムの種類は、rekordbox の **[環境設定]** で設定できます)。

12. ミキサー情報表示

マイク、チャンネル、エフェクトなどの情報を表示します。

❖ プレイリスト内のトラックを再生済みまたは未再生に変更する

- プレイリスト以外でも、トラックを再生済みまたは未再生に変更することができます。

1 プレイリスト内のトラックを選択しているときに、**[MENU]** をタッチする

[MENU] が表示されます。

2 **[PLAYED]** または **[UNPLAYED]** を選択する

- **[PLAYED]**：未再生のトラックを再生済みに設定します。再生済みに変更したトラックは、文字が緑色に変更され、HISTORY (演奏履歴リスト) に登録されます。再生済みのトラックを選択しているときは、**[PLAYED]** は選択できません。
- **[UNPLAYED]**：再生済みのトラックを未再生に設定します。未再生に変更したトラックは、文字が白色に変更され、HISTORY (演奏履歴リスト) から削除されます。未再生のトラックを選択しているときは、**[UNPLAYED]** は選択できません。

❖ プレイリストを削除する

1 [PLAYLIST] 画面で、[MENU] をタッチする

[MENU] が表示されます。

2 [DELETE] または [ALL DELETE] を選択する

- [DELETE]：選択しているプレイリストが削除されます。
- [ALL DELETE]：すべてのプレイリストが削除されます。

プレイリストバンクにプレイリストを追加する

1 [PLAYLIST] 画面で、プレイリストをハイライトする

2 グレーアウト表示されているプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストが登録されると、プレイリストバンクのアイコンが白色に変わります。

- 白色アイコンのプレイリストバンクを選択すると、登録したプレイリストのトラックリストが表示されます。

プレイリストバンクからプレイリストの登録を解除する

1 プレイリストバンクで を選択する

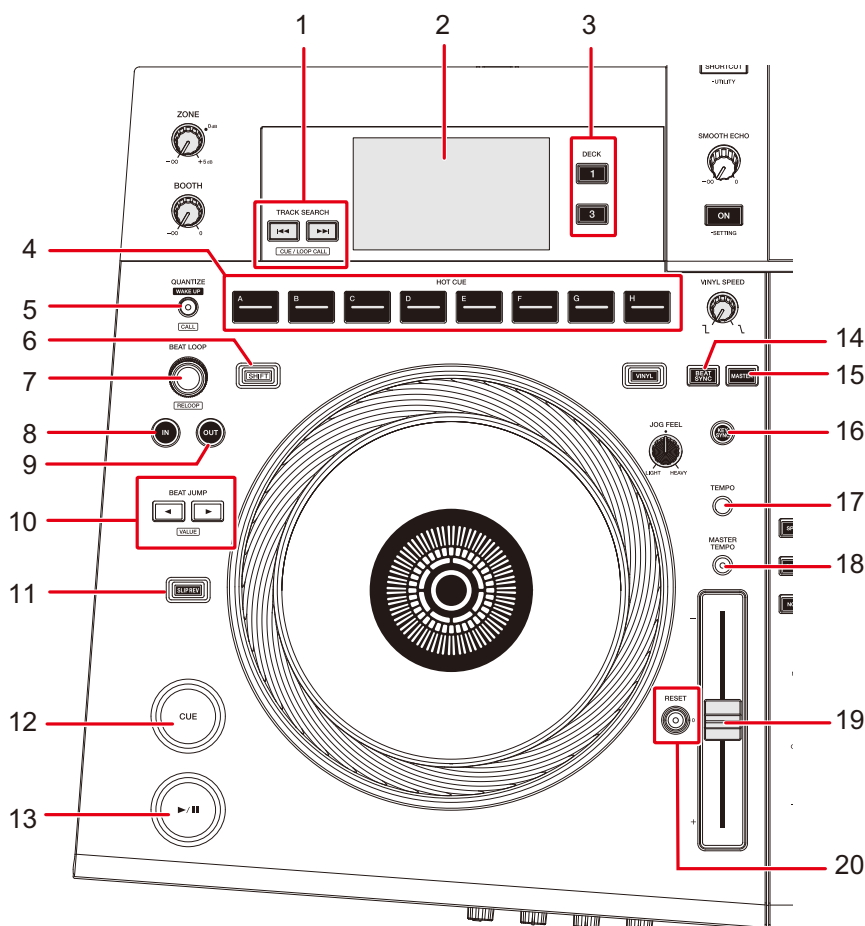
登録解除モードになり、プレイリストバンクアイコンに×が表示されます。

2 登録を解除するプレイリストバンクのアイコンを選択する

プレイリストの登録が解除され、登録解除モードがオフになります。

再生

デッキセクション



1. TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶ ボタン

- **TRACK SEARCH ▶▶**: 次のトラックの先頭にジャンプします。
- **TRACK SEARCH ◀◀**: 再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと、ひとつ前のトラックの先頭にジャンプします。
- **[SHIFT]** ボタンを押しながら押す: 保存したキューポイント／ループを呼び出します (74 ページ、79 ページ)。

2. DECK DISPLAY (38 ページ)

3. デッキ切替えボタン

操作するデッキを切り替えます。

4. **HOT CUE (A～H) ボタン** (81 ページ)
5. **QUANTIZE (デッキ用) ボタン** (86 ページ)
6. **SHIFT ボタン**
7. **BEAT LOOP ノブ** (76 ページ、77 ページ、78 ページ、82 ページ)
8. **LOOP IN ボタン** (73 ページ、76 ページ)
9. **LOOP OUT ボタン** (73 ページ、76 ページ)
10. **BEAT JUMP ◀, ▶ ボタン** (85 ページ)
11. **SLIP REV ボタン** (66 ページ)
12. **CUE ボタン** (73 ページ)
13. **▶/II ボタン**
トラックを再生／一時停止します。
14. **BEAT SYNC ボタン** (87 ページ)
15. **MASTER ボタン** (87 ページ)
16. **KEY SYNC ボタン** (90 ページ)
17. **TEMPO ボタン**
TEMPO スライダーの可変範囲を切り替えます。
18. **MASTER TEMPO ボタン**
マスターテンポをオン／オフします。
19. **TEMPO スライダー** (67 ページ)
20. **RESET ボタン、TEMPO RESET インジケーター**
TEMPO スライダーの位置に関係なく、オリジナルの再生速度でトラックを再生します。
TEMPO RESET をオンにするとインジケーターが点灯します。

再生／一時停止する

1 [▶/■] ボタンを押す

- 一時停止中：再生を開始します。
- 再生中：一時停止します。
- UTILITY設定の [Play Mode] が [Single] に設定されているときは、次のトラックは再生されません（126 ページ）。
- VINYL モードで一時停止すると無音になります。通常モードで一時停止すると音声が続切れ途切れに出力されます（71 ページ）。

全体波形上の触れた位置から再生する

1 一時停止中、またはVINYL モードでジョグダイヤルの天面を押しているときに、全体波形をタッチする

タッチした位置から再生を開始します。

- 全体波形にタッチしたまま指を移動させると、目的の位置まですばやく移動できます。

逆再生する

❖ スリッリバーズ

1 [SLIP REV] ボタンを押し続ける

逆再生を開始するとボタンが点灯し、バックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。

- 操作を終了するとスリップが解除され、解除するまでに経過した位置から通常の再生を開始します。

❖ リバース

1 [SHIFT] ボタンを押しながら [SLIP REV] ボタンを押す

逆再生を開始すると、ボタンが点灯します。

- ジョグの回転方向に応じた音の加速、減速も逆になります。
- トラックをまたいだ逆再生はできません。
- 逆再生中に、頭出し（トラックサーチ）やループ再生などの操作を行うと、スクラッチできないことがあります。

再生速度を調整する（テンポコントロール）

1 TEMPO スライダーを動かす

- [＋] 側に動かす：再生速度が速くなります。
- [－] 側に動かす：再生速度が遅くなります。

- [TEMPO] ボタンを押すたびに TEMPO スライダーの可変範囲が ± 6 (0.02%) $\rightarrow$ ± 10 (0.05%) $\rightarrow$ ± 16 (0.05%) $\rightarrow$ WIDE (0.5%) と切り替わります*。

[WIDE] の調整範囲は $\pm 100\%$ です。 -100% に設定すると、再生が停止します。

* () 内は調整単位。

音程を変えずに再生速度を調整する（マスターテンポ）

マスターテンポをオンにすると、TEMPO スライダーで再生速度を変えても音程が変わりません。

1 [MASTER TEMPO] ボタンを押して、マスターテンポをオンにする

マスターテンポをオンにすると、ボタンが点灯します。

- もう一度 [MASTER TEMPO] ボタンを押すと、マスターテンポがオフになります。

再生中以外の音声をモニターする（TOUCH CUE）

再生中に全体波形をタッチすると、再生中の音声を出力しながら、波形をタッチしている間、タッチした位置からの音声をモニターできます。

1 ヘッドホンを接続する

■ 「本体フロント部」(30 ページ)

2 MAIN DISPLAY（WAVEFORM 画面）で、全体波形をタッチする

タッチした位置の音声をヘッドホンでモニターできます。

- タッチした位置の波形が拡大波形に表示されます。

録音

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から出力される音声と同じ音声を、記録デバイス（USB）にWAVファイルとして録音できます。

- 録音ファイルの名称は“REC***.WAV”（***は3桁の数字）となります。
- 本機は時計機能がないため、記録デバイス（USB）へ録音した際に日付や時刻の情報を書き込むことはできません。

1 USB デバイス挿入口にUSB デバイスを挿入する

☐ 「USB セクション」 (47 ページ)

2 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

3 録音するデバイスを選択し、[Rec] をタッチする

録音を開始します。

- 入力切替えて [Bluetooth] を選択しているときは、録音を開始できません。
- 1GBの空き容量の記録デバイス（USB）で、約90分間の録音ができます。
- もう一度 [Rec] をタッチすると、[Rec] が消灯し録音を終了します。

録音しながらトラックを分割する

1 [SHORTCUT] ボタンを押す

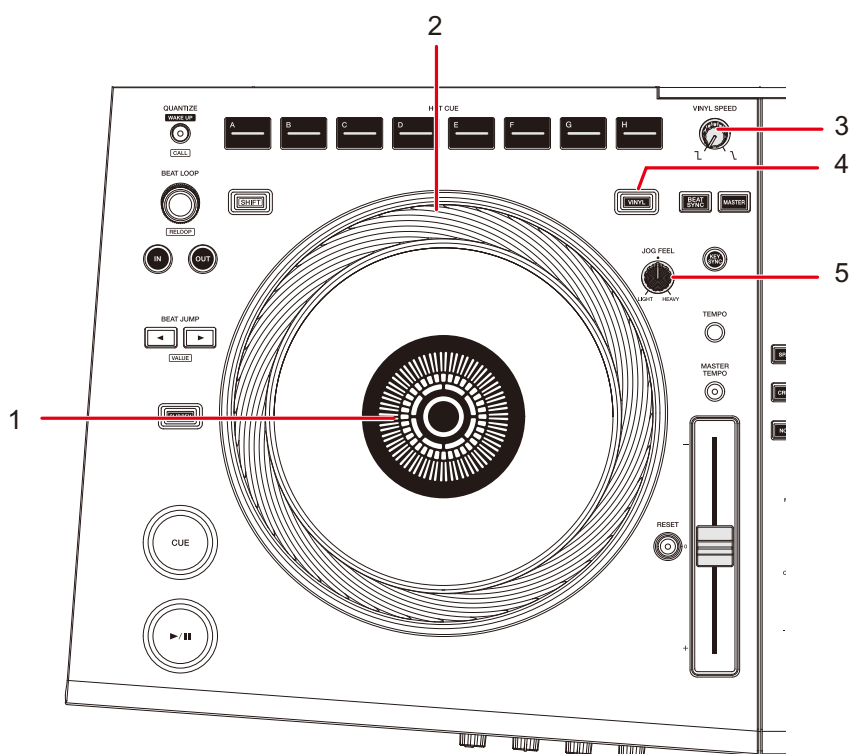
[SHORTCUT] 画面が表示されます。

2 録音中に [Track Mark] をタッチする

[Track Mark] をタッチした位置でファイルを分割し、分割した位置以降を新しい音声ファイルとして録音を続けます。

ジョグの操作

ジョグセクション



1. ジョグ表示 (40 ページ)
2. ジョグ
 - ジョグの天面にはセンサーが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。
3. **VINYL SPEED ノブ**

ジョグダイヤルの天面を押して再生が減速して停止するまでの速度と、ジョグダイヤルの天面から手を放して通常の再生に戻るまでの速度を調整します。
4. **VINYL ボタン**

ジョグの操作モードを切り替えます。
5. **JOG FEEL ノブ**

ジョグの回転負荷を調整します。

操作モードを切り替える

1 [VINYL] ボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のモードが切り替わります。VINYL モードのときに、ボタンが点灯します。

- **VINYL モード**：再生中にジョグ天面を押すと再生を停止し、そのまま回すとスクラッチできます。
- **通常モード**：ジョグの天面の操作で、再生の停止やスクラッチはできません。

ジョグを操作する

ジョグで以下の操作が可能です。

機能	説明
ピッチベンド	再生中に外周部分を右に回すと再生速度が加速し、左に回すと減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。 • ジョグモードが通常モードのときは、ジョグの天面を押しながら回すことによって、同じ操作ができます。
スクラッチ	ジョグモードが VINYL モードのときに、再生中にジョグの天面を押したまま回転させるとスクラッチできます。ジョグの天面から手を離すと、通常の再生に戻ります。
フレームサーチ	一時停止中にジョグを回すと一時停止位置を移動します。 • 1回転で1.8秒移動します。
早送り／早戻し	[SHIFT] ボタンを押しながらジョグを回すと、高速で早送り／早戻しします。
スーパーファストトラックサーチ	[TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押しながらジョグを回すと、回転方向に高速でトラックを送ります。

ジョグの回転負荷を調整する

1 [JOG FEEL] ノブを回す

- 右に回す：負荷が重くなります。
- 左に回す：負荷が軽くなります。

再生と停止の速度を調整する (VINYL モード)

以下の速度を調節します。

- ジョグの天面を押す、または [▶/■] ボタンを押してから再生が減速して停止するまでの速度
- ジョグの天面を離す、または [▶/■] ボタンを押してから通常の再生に戻るまでの速度

1 [SHORTCUT] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 [Vinyl Speed Adjust] で調整方法を選択する

- [Touch & Release]：再生が減速して停止するまでの速度と、通常の再生に戻るまでの速度を調整します。
- [Touch]：再生が減速して停止するまでの速度を調整します。
- [Release]：通常の再生に戻るまでの速度を調整します。

3 [VINYL SPEED] ノブを回す

- 左に回す：速度が速くなります。
- 右に回す：速度が遅くなります。

キュー

あらかじめ設定されているポイントを瞬時に呼び出します。

キューポイントを設定する

❖ 一時停止中

1 [CUE] ボタンを押す

キューポイントが設定されます。

- 一時停止中にジョグを回すと、一時停止位置を微調整（0.5 フレーム単位）できます。

❖ 再生中

1 [LOOP IN] ボタンを押す

キューポイントが設定されます。

- 新しいキューポイントを設定すると、既存のキューポイントは解除されます。
- UTILITY 設定の [Overwrite Current Cue with Hot Cue] を [On] に設定しているときは、ホットキューを設定する、またはホットキューから再生を開始すると、そのポイントが新しいキューポイントとして設定されます（125 ページ）。

キューポイントに戻る

1 再生中に [CUE] ボタンを押す

キューポイントに戻り、キュー待機になります。

- キューポイントにコメントが設定されているときは、トラック名表示部にコメントが表示されます。

キューポイントを確認する（キューポイントサンプラー）

1 キューポイントに戻る

- ☐ 「キューポイントに戻る」 (73 ページ)

2 [CUE] ボタンを押し続ける

[CUE] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。

- [▶/III] ボタンを押すと、[CUE] ボタンを離しても再生を続けます。

キューポイントを保存する

1 キューポイントを設定する

- ☐ 「キューポイントを設定する」 (73 ページ)

2 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE] ボタンを押す

- キュー待機中は、キュー待機中のポイントと保存されているキューポイントが一致している場合は、保存したキューポイントが削除されます。

保存したキューポイントを呼び出す

1 キューポイントを呼び出すトラックをロードする

2 [SHIFT] ボタンを押しながら [TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

- 呼び出したポイントに rekordbox でコメントが設定されている場合は、トラック名表示部にコメントが表示されます。

保存したキューポイントを削除する

1 保存したキューポイントを呼び出す

- 「保存したキューポイントを呼び出す」 (74 ページ)

2 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE] ボタンを押す

オートキューを設定する

トラックをロードしたときや頭出し（トラックサーチ）したときに、トラックの音声が始まる直前に（無音部を飛ばして）自動でキューポイントを設定します。

1 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

2 [Auto Cue] の [ON] をタッチする

オートキューがオンになると、DECK DISPLAYに [A.CUE] が表示されます。

- 電源をオフにしてもオートキューの設定は保持されます。
- UTILITY設定の [Auto Cue Level] で、無音部として認識する音圧レベルを設定できます (126 ページ)。

ループ

指定した区間を繰り返し再生します。

ループを設定する

手動設定

- 1 再生中に、ループ再生を開始する位置（ループインポイント）で **[LOOP IN]** ボタンを押す
- 2 ループ再生を終了する位置（ループアウトポイント）で **[LOOP OUT]** ボタンを押す

設定した区間のループ再生を開始します。

自動設定

❖ 4ビートループ

- 1 再生中に **[LOOP IN]** ボタンを長押しする

トラックのBPMに合わせて、押した位置から4拍のループ再生を開始します。

- トラックのBPM が検知できないときは、BPM は120に設定されます。

❖ ビートループ

- 1 **[BEAT LOOP]** ノブを回して、ループの長さの拍数を選択します。
- 2 **[BEAT LOOP]** ノブを押す

トラックのBPMに合わせて、選択した拍数でループ再生を始めます。

- トラックのBPM が検知できないときは、BPM は 120 に設定されます。

ループポイントを微調整する

1 ループ再生中に、[LOOP IN] または [LOOP OUT] ボタンを押す

ループアジャストモードに切り替わります、

- [LOOP IN]：ループインポイントを調整します。
- [LOOP OUT]：ループアウトポイントを調整します。

2 ジョグを回してループポイントを微調整する

- もう一度 [LOOP IN] または [LOOP OUT] ボタンを押すか、10 秒以上何も操作しないとループアジャストモードが解除されます。

ループの長さを調整する

ループを半分の長さにする

1 ループ再生中に [BEAT LOOP] ノブを左に回す

ループの長さが半分になります。

ループを2倍の長さにする

1 ループ再生中に [BEAT LOOP] ノブを右に回す

ループの長さが倍になります。

ループインポイントに戻ってループ再生する（リトリガー）

- 1 ループ再生中に **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[LOOP IN]** ボタンを押す

再生位置がループインポイントに戻り、ループ再生します。

アクティブループを使う

あらかじめ rekordbox で、保存されたループの1つをアクティブループに設定してください。

- 1 アクティブループを設定したトラックをロードする

再生位置が設定ポイントを通過すると、自動でループ再生を開始します。

ループ再生を解除する

- 1 ループ再生中に **[BEAT LOOP]** ノブを押す

ループ再生が解除されます。

- **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[BEAT LOOP]** ノブを押すと、設定されているループインポイントからループ再生を開始します。

エマージェンシーループ

本機は、トラックを再生し続けられなくなった場合の音切れを防ぐため、自動でビートループを設定します。

- エマージェンシーループ中は DJ プレイが制限されます。
- エマージェンシーループを解除するには、次のトラックをロードしてください。
- ファイルキャッシュが完了しているときは、エマージェンシーループが設定されずにそのまま制限つきで再生を継続します。

ループポイントを保存する

1 ループポイントを設定する

- ☐ 「ループを設定する」 (76 ページ)

2 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE] ボタンを押す

保存したループポイントを呼び出す

1 ループポイントを呼び出すトラックをロードする

2 [SHIFT] ボタンを押しながら [TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

- 呼び出したポイントに rekordbox でコメントが設定されている場合は、トラック名表示部にコメントが表示されます。

保存したループポイントを削除する

1 保存したループポイントを呼び出す

- ☐ 「保存したループポイントを呼び出す」 (79 ページ)

2 [SHIFT] ボタンを押しながら [CUE] ボタンを押す

- アクティブループに設定されているループを削除した場合は、アクティブループも削除されます (78 ページ)。

ホットキュー

[HOT CUE] (A ~ H) ボタンを押すと、瞬時に設定されているポイントを呼び出し、再生を開始します。

ホットキューを設定する

1 ホットキューを設定したい位置で [HOT CUE] (A ~ H) のいずれかのボタンを押す

ホットキューが設定されます。

- ループ再生中の場合は、ループが設定されます。
- UTILITY 設定の [Overwrite Current Cue with Hot Cue] が [On] のときは、同時にキューポイントとして設定されます (125 ページ)。
- 設定できるホットキューは、1 曲につき 8 個までです。
- [HOT CUE] (A ~ H) ボタンは、設定されている内容によって以下のように点灯します。rekordbox で、色を変更することもできます。

設定されている内容	UTILITY 設定の [Hot Cue Color] 設定	
	[Off]	[On]
キューポイント	緑	ボタン固定色
ループ	オレンジ	オレンジ
設定なし	点灯しない	点灯しない

- ホットキューが設定されている [HOT CUE] (A ~ H) ボタンには、ホットキューを設定できません。新しく設定するには、設定されているホットキューを削除してください (82 ページ)。

ホットキューから再生する

- 1 ホットキューが設定されている **[HOT CUE]** (A ~ H) のいずれかのボタンを押す

ホットキューの再生を開始します。

- UTILITY 設定の **[Overwrite Current Cue with Hot Cue]** が **[On]** のときは、同時にキューポイントとして設定されます (125 ページ)。
- **[HOT CUE]** (A ~ H) ボタンで開始したループ再生を解除するには、**[BEAT LOOP]** ノブを押します。

ホットキューを削除する

- 1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[HOT CUE]** (A ~ H) のいずれかのボタンを押す

ホットキューが削除されます。

ホットキューを呼び出す

自動呼び出し

記録メディア (USB) に保存してあるホットキューを、トラックロード時に自動で呼び出します。

- 1 **[SHORTCUT]** ボタンを長押し、または押す

[UTILITY] 画面または **[SHORTCUT]** 画面が表示されます。

- 2 **[Hot Cue Auto Load]** を **[On]** または **[rekordbox Setting]** に設定する

- **[On]** : すべてのトラックのロード時に、自動でホットキューを呼び出します。
- **[rekordbox Setting]** : が表示されているトラック（rekordboxで**[Hot Cue Auto Load]**を設定したトラック対象）のロード時に、自動でホットキューを呼び出します。
- **[Off]** : ホットキューを呼び出しません。

手動呼び出し

記録メディア（USB）に保存してあるホットキューを、手動で呼び出します。

1 **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[QUANTIZE]** ボタンを押す

ホットキューが設定されている **[HOT CUE]**（A～H）ボタンが点滅します。

2 いずれかの **[HOT CUE]**（A～H）ボタンを押す

設定されているホットキューを呼び出します。

- 以下の操作を行うと、ホットキュー呼び出しモードがオフになります。
 - ホットキューをすべて呼び出す
 - ホットキュー呼び出しモード中に **[QUANTIZE]** ボタンを押す
 - 再生するトラックを変更する

ホットキューバンクリストを使う

あらかじめrekordboxを使って設定したホットキューバンクリストを、本機の **[HOT CUE]**（A～H）ボタンに設定します。

- ホットキューバンクリストは本機では編集できません。rekordboxを使用してください。詳しくは、下記のrekordbox サイトから操作説明書を参照してください。

rekordbox.com/manual

1 **[BROWSE]** ボタンを押す

[BROWSE] 画面が表示されます。

2 カテゴリーで **[HOT CUE BANK]** を選択する

ホットキューバンクリストが表示されます。

3 ホットキューバンクリストを選択する

選択したホットキューバンクリストに登録されているホットキューが表示されます。

4 ホットキューバンクリストで楽曲を選択してタッチ、またはスマートロータリーセクターを押す

- LOAD MENUでデッキを指定すると、ホットキューバンクリストに登録されているホットキューが指定したデッキに設定されます。

ビートジャンプ／ループムーブ

再生位置を、ボタンを押した位置から、設定した拍数でジャンプします。

ビートジャンプ／ループムーブを使う

1 再生中に [BEAT JUMP ◀, ▶] ボタンを押す

ボタンを押した位置から、設定されている拍数でジャンプします。

- ループ再生中の場合は、設定されている拍数でループが移動します。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [BEAT JUMP ◀, ▶] を押す、または [BEAT LOOP] ノブを回すと、設定されている拍数を変更できます。

クオンタイズ（デッキ用）

キュー、ループインポイント、ループアウトポイント、ホットキューを設定する際に、ビートとタイミングがずれた場合でも、自動で最も近い拍位置にポイントを合わせます。

また、ホットキュー、ループ、逆再生、スリップリバースなどをリズムを崩さずに使用できます。

- rekordboxで解析されていないトラックはクオンタイズ機能を使用できません。rekordboxでトラックを解析する方法については、rekordboxの操作説明書を参照してください（8ページ）。
- クオンタイズに設定されている拍数は、UTILITY設定の **[Quantize Beat Value (Deck)]** または **[SHORTCUT]** 画面の **[Quantize Beat Value]** で設定できます（125 ページ、136 ページ）。

クオンタイズを使う

1 **[QUANTIZE]** ボタンを押す

クオンタイズ機能がオンになり、DECK DISPLAYに **[Q]** とクオンタイズの拍数が表示されます。

- もう一度 **[QUANTIZE]** ボタンを押すと、クオンタイズ機能がオフになります。

ビートシンク

ビートシンクをオンにすると、本機のデッキで再生するトラックのテンポ（BPM）と拍位置を自動で合わせます。

- rekordbox で解析していないトラックはビートシンクできません。
- rekordbox for Mac/Windows をマスターにすることもできます。詳細については、rekordbox の操作説明書を参照してください（8 ページ）。

ビートシンクを使う

1 マスターにするデッキで、rekordbox で解析済みのトラックを再生する

- マスターにするデッキで **[MASTER]** ボタンを押して、マスターを指定することもできます。

2 マスターにシンクさせるデッキで、rekordbox で解析済みのトラックを再生する

3 マスターにシンクさせるデッキで **[BEAT SYNC]** ボタンを押す

ビートシンクがオンになります。

- もう一度 **[BEAT SYNC]** ボタンを押すと、ビートシンクがオフになります。
TEMPO スライダーの位置（BPM）が再生テンポ（BPM）と一致していないときは、ビートシンクの再生テンポを維持しています。再度トラックをロードしなおすか、TEMPO スライダーを再生テンポに合わせると通常の動作に戻り、TEMPO スライダーでテンポコントロールできるようになります。

インスタントダブルスを使う

DECK 1/3 と DECK 2/4 のいずれかの表デッキで再生中のトラックの再生位置と同じ位置から、もう一方の表デッキで再生を開始します。

1 再生位置を合わせて再生を開始したいデッキの **[LOAD]** ボタン (**[LOAD 1/3]** または **[LOAD 2/4]** ボタン) を2回押す

- 再生位置を合わせて再生を開始したいデッキの **[BEAT SYNC]** ボタンを長押ししてインスタントダブルスを開始することもできます。

ビートグリッド

拍位置（ビートグリッド）を調整します。

- rekordbox で解析していないトラックは調整できません。

ビートグリッドを調整する

1 WAVEFORM 画面でスマートロータリーセクターを長押しする

GRID ADJUST モードに切り替わります。

2 スマートロータリーセクターを回して、ビートグリッドを調整する

- アクティブデッキのビートグリッドを調整することができます。
- ミキサー情報表示の以下を使って調整することでもできます。
 - **[SNAP GRID(CUE)]**：設定されているキューポイントに 1 拍目を移動します。
 - **[SHIFT GRID]**：同期中に調整した内容（ピッチベンドなど）を反映します。
 - **[<1/2]、[1/2>]**：1/2 拍単位でビートグリッドを移動します。
- **[RESET]** をタッチすると、元のビートグリッドに戻ります。
- もう一度 WAVEFORM 画面でスマートロータリーセクターを長押しすると、ZOOM モードに戻ります。
- デッキ切替えボタンを押して、アクティブデッキを切り替えることができます。

キーシンク

本機で再生中のトラックのキー（調）を、マスタープレーヤーにロードされているトラックのキーに合わせて調整します。

- rekordbox で解析していないトラックは調整できません。

キーシンクを使う

1 トラックがロードされているときに、[KEY SYNC] ボタンを押す

以下のうち、変化が少ないキーに調整します。

- 同じ調
- 属調
- 下屬調
- 平行調
- 属調の平行調
- 下屬調の平行調

- [KEY SYNC] または [MASTER TEMPO] ボタンを押すと、元のキーに戻ります。

キーシフト

音程を調整します。

キーシフトを使う

1 WAVEFORM画面で、KEY表示の▶をタッチする

キーシフト画面が表示されます。

2 [-] または [+] をタッチして、キーを調整する

ボタンを押すごとに、半音ずつ変化します。



- [RESET] をタッチすると元の音程に戻ります。

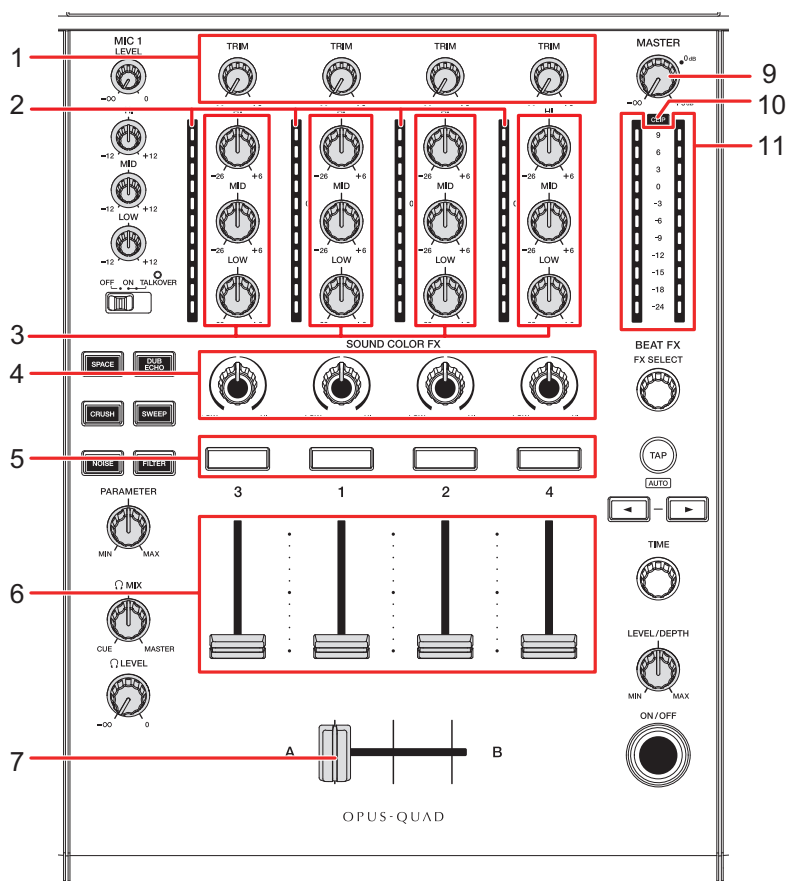
音声出力

以下の操作を行って、音声を出力します。

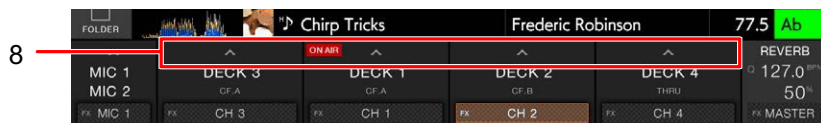
- －「音声を出力する」(94 ページ)
- －「チャンネル音声の音質を調整する」(95 ページ)
- －「フェーダーを設定する」(95 ページ)

チャンネルセクション／マスターセクション

コントロールパネル：



画面：



❖ チャンネルセクション

1. TRIM ノブ

チャンネルの入力音声の音量を調整します。

2. チャンネルレベルインジケーター

チャンネルフェーダー通過前の音量を表示します。

3. EQ/ISO (HI, MID, LOW) ノブ

各音域の音質を調整します。

各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- [HI] : $-\infty$ dB ~ +6 dB (ISO) / -26 dB ~ +6 dB (EQ)
- [MID] : $-\infty$ dB ~ +6 dB (ISO) / -26 dB ~ +6 dB (EQ)
- [LOW] : $-\infty$ dB ~ +6 dB (ISO) / -26 dB ~ +6 dB (EQ)

4. COLOR ノブ (105 ページ)

5. CUE ボタン (97 ページ)

6. チャンネルフェーダー

UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [Channel Fader Curve] で指定されているカーブ特性 (127 ページ、137 ページ) にしたがって、音声を出力します。奥側へスライドすると音量が上がり、手前へスライドすると音量が下がります。

7. クロスフェーダー

[CROSSFADER ASSIGN (A, THRU, B)] 切り替え設定で割り当てられた音声を UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [Crossfader Curve] で設定したカーブ特性にしたがって出力します (127 ページ、137 ページ)。

8.

- 入力切替え：本機に接続している機器の中から [CH 3] または [CH 4] の入力ソースを切り替えます。
 - [DECK 3]、[DECK 4]：本機のデッキ
 - [LINE]：[LINE/PHONO] 端子に接続しているマルチプレーヤーなど
 - [PHONO]：[LINE/PHONO] 端子に接続しているターンテーブル
 - [Bluetooth]：Bluetoothに接続している PC/Mac やモバイルデバイス
- [CROSSFADER ASSIGN (A, THRU, B)] 切り替え：[CROSSFADER ASSIGN] でチャンネルの出力先をクロスフェーダーに割り当てます。
 - [A]：クロスフェーダーの [A] (左) 側に割り当てます。
 - [THRU]：クロスフェーダーを使わないときに選びます (クロスフェーダーは通過しません)。
 - [B]：クロスフェーダーの [B] (右) 側に割り当てます。

❖ マスターセクション

9. MASTER LEVEL ノブ

マスター音声の音量を調整します。

10. CLIP インジケーター

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から過大音量が出力されたときに点滅します。

11. マスターレベルインジケーター

[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子に出力するマスター音声の音量を表示します。

音声を出力する

チャンネル入力音量を調整する

1 ミキサー情報表示のをタッチする

2 [CH 3]、[CH 4] の入力ソースを選ぶ

- [CH 1]、[CH 2] の音声出力するときは、この操作は必要ありません。

3 [TRIM] ノブを回して、入力音声の音量を調整する

音声が入力されると、チャンネルレベルインジケーターが点灯します。

チャンネル出力音量を調整する

1 チャンネルフェーダーを動かして、出力音声の音量を調整する

2 ミキサー情報表示のをタッチする

3 [CROSSFADER ASSIGN (A、THRU、B)] 切り替え設定でチャンネルの出力先を選択する

4 クロスフェーダーを動かして、出力音声を調整する

- [CROSSFADER ASSIGN (A、THRU、B)] を [THRU] に設定しているときは、この操作は必要ありません。

マスター音量を調整する

1 MASTER LEVEL ノブを回して、マスター音声の音量を調整する

マスター音声が出力されると、マスターレベルインジケーターが点灯します。

チャンネル音声の音質を調整する

1 EQ/ISO (HI、MID、LOW) ノブを回して、各音域の音質を調整する

- UTILITY 設定または [SHORTCUT] 画面の [EQ/ISO] で、EQ/ISO (HI、MID、LOW) ノブで調整する機能（イコライザーまたはアイソレーター）を設定します（127 ページ、137 ページ）。

フェーダーを設定する

チャンネルフェーダーとクロスフェーダーを設定します。

チャンネルフェーダーを設定する

1 [SHORTCUT] ボタンを長押し、または押す

[UTILITY] 画面または [SHORTCUT] 画面が表示されます。

2 [Channel Fader Curve] で、チャンネルフェーダーカーブを設定する

- 「Channel Fader Curve」 (127 ページ、137 ページ)

クロスフェーダーを設定する

1 [SHORTCUT] ボタンを長押し、または押す

[UTILITY] 画面または [SHORTCUT] 画面が表示されます。

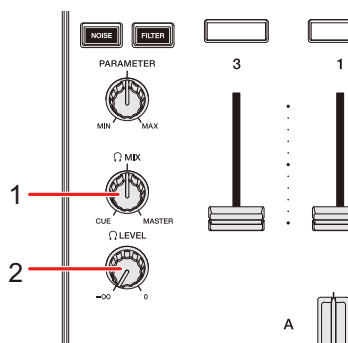
2 [Crossfader Curve] で、クロスフェーダーカーブを設定する

- : クロスフェーダーを一方 ([A] または [B] 側) からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が急峻に立ち上がります (例: [A] 側から離れるとすぐに [B] 側の音声が出力されます)。
- :  と  の中間の設定です。
- : クロスフェーダーを一方 ([A] または [B] 側) からスライドすると、もう一方に割り当てられている音が徐々に立ち上がります (例: [A] 側から離れると [B] 側の音声は徐々に大きくなり、[A] 側の音声は徐々に小さくなります)。

📖 「Crossfader Curve」 (127 ページ、137 ページ)

音声モニター

ヘッドホンセクション



1. MIX ノブ

〔CUE〕 ボタンで選択しているチャンネルの音声、ZONE、TOUCH Preview、TOUCH CUE の音声とマスターチャンネルの音声のモニター音量バランスを調整します。

- チャンネルの音声、ZONE、TOUCH Preview、TOUCH CUE のみをモニターしたいときは〔CUE〕に、マスターチャンネルの音声のみをモニターしたいときは〔MASTER〕に合わせてください。

2. LEVEL ノブ

ヘッドホンから出力する音量を調整します。

ヘッドホンで音声をモニターする

1 PHONES 端子にヘッドホンを接続する

- ☛ 「本体フロント部」(30 ページ)

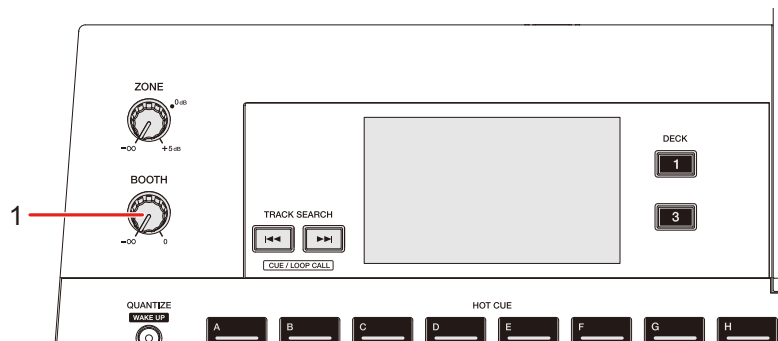
2 モニターしたいチャンネルの〔CUE〕 ボタンを押す

- TOUCH Preview または TOUCH CUE の音声をモニターする場合は、この操作は必要はありません。
- ZONE の音声をモニターするには、〔SHORTCUT〕画面の〔Preview〕をタッチし続けてください。

- UTILITY設定または[**SHORTCUT**]画面の[**Headphones Mono Split/Stereo**]で、ヘッドフォンの出力音声（Mono Split／Stereo）を設定できます（127ページ、137ページ）。

- 3 [MIX] ノブを回して、チャンネルとマスター音声の音量バランスを調整する
- 4 [LEVEL] ノブを回して、音量を調整する

BOOTHセクション



1. **BOOTH LEVEL ノブ**
BOOTH モニター音声の音量を調整します。

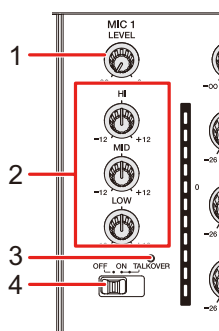
BOOTH モニターを使う

- 1 [BOOTH] 端子にBOOTHモニター用の機器を接続する
🔊 「本体リア部」(30 ページ)
- 2 **BOOTH LEVEL ノブ**を回して、出力音声の音量を調整する

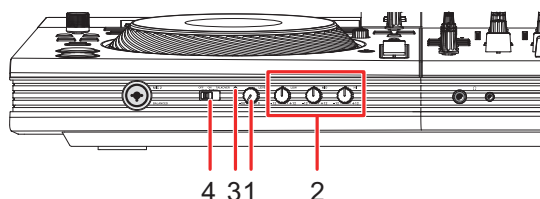
マイク

MIC セクション

コントロールパネル (MIC 1用) :



本体フロント部 (MIC 2用) :



1. LEVEL ノブ

[MIC 1]、[MIC 2] 端子から入力する音量を調整します。

2. MIC EQ (HI, MID, LOW) ノブ

[MIC 1]、[MIC 2] 端子から入力する音声の音質を調整します。

各ノブで調整できる音域は以下のとおりです。

- [HI] : -12 dB ~ +12 dB (10 kHz)
- [MID] : -12 dB ~ +12 dB (2.5 kHz)
- [LOW] : -12 dB ~ +12 dB (100 Hz)

3. マイクインジケター

[OFF, ON, TALKOVER] 切替えスイッチの設定を以下のように示します。

- 消灯 : [OFF] に設定されています。
- 点灯 : [ON] に設定されています。
- 点滅 : [TALKOVER] に設定されています。

4. OFF, ON, TALKOVER 切替えスイッチ

マイク音声の出力を設定します。

- [OFF] : マイクをオフにします。
 - [ON] : マイクをオンにします。
 - [TALKOVER] : マイクに音声が入力されると、マイクチャンネル以外の音量が -24 dB 減衰します。
- Talkover モードと音声減衰レベルは、UTILITY 設定の [Talkover Mode] で変更できます (128 ページ)。

マイクを使う

1 [MIC 1] または [MIC 2] 端子にマイクを接続する

■ 「本体フロント部」(30 ページ)、「本体リア部」(30 ページ)

2 [OFF, ON, TALKOVER] 切替えスイッチを切り替えて、マイク音声の出力を設定する

3 [LEVEL] ノブを回して、マイク音声の音量を調整する

- 右に回しすぎると、大音量で出力されます。ご注意ください。

4 MIC EQ (HI, MID, LOW) ノブを回して、各音域の音質を調整する

5 マイクに音声を入力する

マイクのハウリングを低減する（FEEDBACK REDUCER）

マイクのハウリングが発生したときに、周波数を検出し、検出された周波数帯域だけを除去して音質への影響を最低限に抑えながらハウリングを低減します。

1 ミキサー情報表示のMICエリアで、をタッチする

[MIC] メニューが開きます。

2 モードを選ぶ

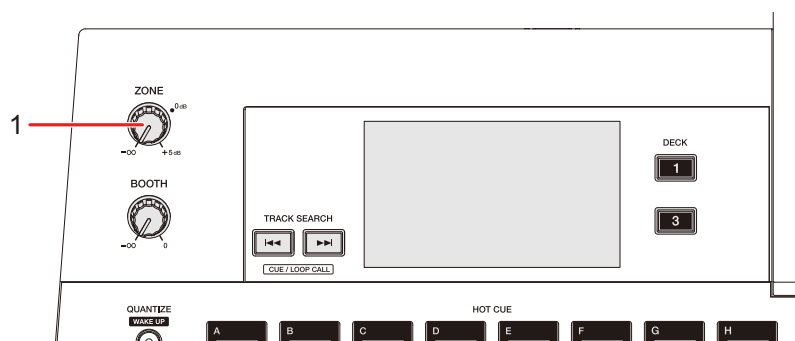
[FEEDBACK REDUCER] が [ON] になります。

- [HEAVY]：フィルターでカットする周波数帯域が広く、スピーチやMCなど、ハウリングの低減を優先させたいときに選びます。
- [LIGHT]：フィルターでカットする周波数帯域が狭く、歌やラップなどのパフォーマンスなど、音質を優先させたいときに選びます。

- [FEEDBACK REDUCER] をオフにする場合は、[OFF] をタッチします。

ZONE

ZONE セクション



1. ZONE LEVEL ノブ

ZONE 音声の音量を調整します。

- マスターチャンネルから出力される音声とは別に、**[ZONE]** 端子から音声を出力できます。

ZONE を使う

1 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

2 [Zone Assign] で [ZONE] 端子から出力するチャンネルを選択する

- 選択するチャンネルによって出力される音声が異なります。
 - [CH 3]、[CH 4]：フェーダーの位置に関係なく音声出力されます。
 - [MASTER]：[MASTER] ノブの位置に関係なく音声出力されます。

3 [Zone] の [ON] をタッチする

ZONE 出力がオンになります。

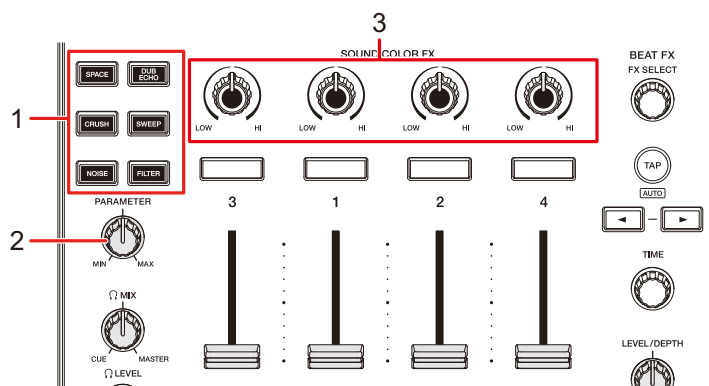
4 ZONE LEVEL ノブを回す

[ZONE] 端子から音声出力されます。

- ZONE 出力をオフにするときは、もう一度 [SHORTCUT] 画面で [Zone] の [ON] をタッチします。

SOUND COLOR FX

SOUND COLOR FX セクション



1. **SOUND COLOR FX ボタン**
SOUND COLOR FXを選択します。
2. **PARAMETER ノブ**
FILTERやその他のエフェクトを調整します。
3. **COLOR ノブ**
エフェクトを調整します。

SOUND COLOR FX を使う

■ 「SOUND COLOR FXの種類と設定方法」(106 ページ)

1 使用するエフェクトのSOUND COLOR FXボタンを押す

使用中のエフェクトのボタンが点滅します。

- CH 1～CH 4に選択したエフェクトが加わります。

2 COLORノブを回して、エフェクトを調整する

ノブを回したチャンネルの音声のエフェクトを調整します。

3 [PARAMETER] ノブを回して、エフェクトの量的パラメーターを調整する

- もう一度使用中のエフェクトボタンを押すと、エフェクトがオフになります。

SOUND COLOR FXの種類と設定方法

ノブの操作で下記の内容を設定できます。

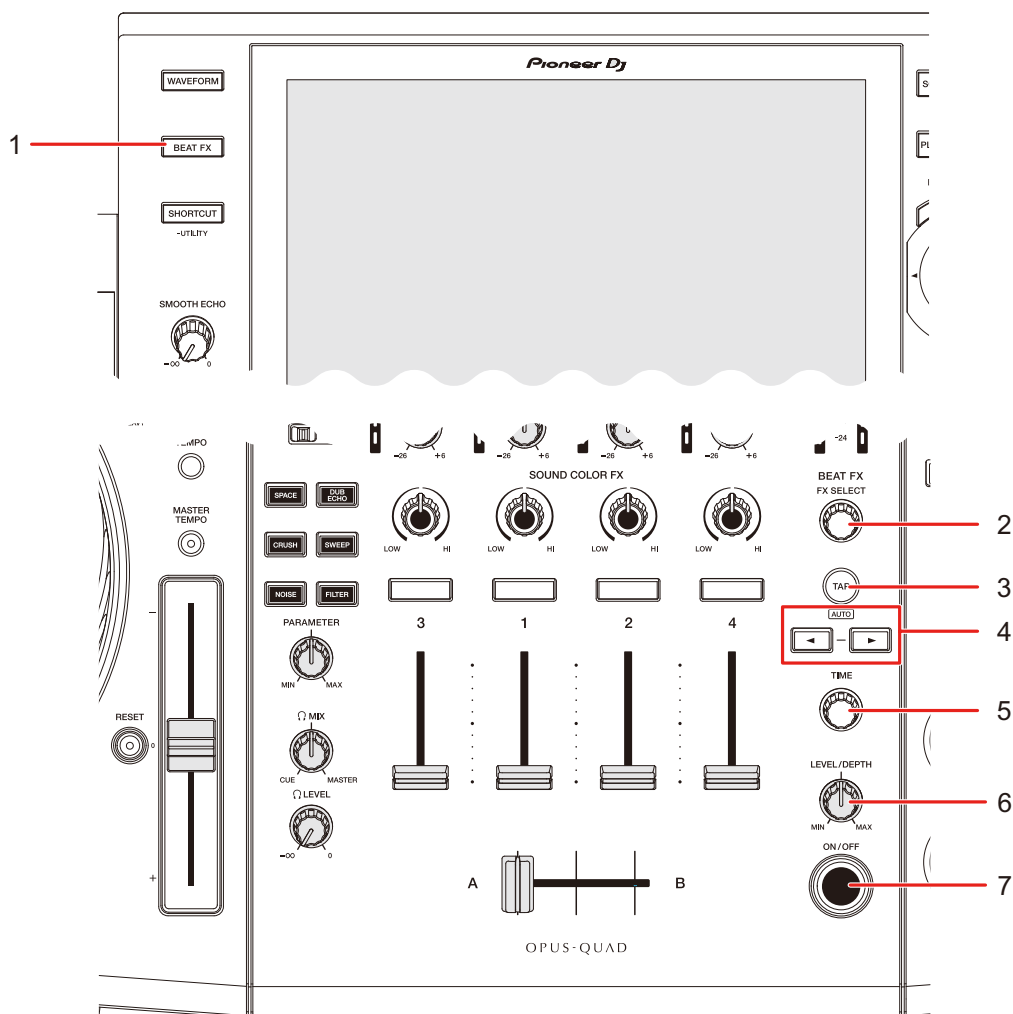
エフェクト／操作	説明
SPACE	原音に残響効果を加えます。
• COLOR:	左に回す：中音域と低音域に残響効果を加えます。 右に回す：中音域と高音域に残響効果を加えます。
• PARAMETER:	フィードバック
DUB ECHO	ディレイ音を減衰させながら数回出力して、反響効果を加えます。
• COLOR:	左に回す：中音域に反響効果を加えます。 右に回す：高音域に反響効果を加えます。
• PARAMETER:	フィードバック
SWEEP	ゲート効果（タイトな音にして音量感を減らす）またはバンドパスフィルターの効果を加えます。
• COLOR:	左に回す：ゲート効果を加えます。 右に回す：バンドパスフィルターの帯域幅が徐々に狭くなります。
• PARAMETER:	エフェクト効果
NOISE	フィルターに通したホワイトノイズを、チャンネルの音声とミックスして出力します。
• COLOR:	左に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ホワイトノイズを通すフィルターのカットオフ周波数を上げます。
• PARAMETER:	ノイズの音量
• EQ/ISO (HI、MID、LOW) :	ノイズの音質

エフェクト／操作	説明
CRUSH	原音をクラッシュしたような音に変化させて出力します。
• COLOR:	左に回す：音声のひずみを増します。 右に回す：音声をクラッシュしてからハイパスフィルターを通過させます。
• PARAMETER:	エフェクト効果
FILTER	フィルターを通した音声を出力します。
• COLOR:	左に回す：ローパスフィルターのカットオフ周波数を下げます。 右に回す：ハイパスフィルターのカットオフ周波数を上げます。
• PARAMETER:	レゾナンス

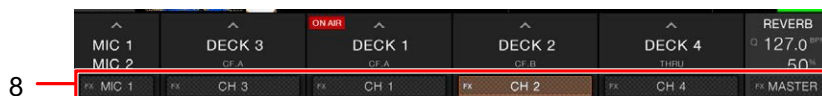
BEAT FX

BEAT FX セクション

コントロールパネル：



画面：



1. BEAT FX ボタン

BEAT FX画面を表示します。

2. FX SELECT ノブ

BEAT FXを選択します。

- 回すと、MAIN DISPLAYにBEAT FXの種類が表示されます。

3. TAP ボタン

BPMを設定します。

- 本機の電源をオンにしたときは、AUTOモードに設定されます。

4. BEAT ◀, ▶ ボタン

エフェクトの拍数を設定します。

5. TIME ノブ

時間的パラメーターを調節します。

6. LEVEL/DEPTH ノブ

- 左に回しきると、原音が出力されます。

7. ON/OFF ボタン

BEAT FXをオン／オフします。オンになると、ボタンが点滅します。

8. BEAT FX チャンネル切替え

エフェクトを加えるチャンネルを選択します。

BEAT FX を使う

📖 「BEAT FXの種類と設定方法」(113 ページ)

1 [FX SELECT] ノブを回して、BEAT FXを選択する

- BEAT FX BANKにBEAT FXが登録してある場合は、BANKボタンをタッチしてBEAT FXを選択することもできます(118 ページ)。

2 ミキサー情報表示のBEAT FXチャンネル切替えをタッチする

3 BEAT FXを加えるチャンネルを選択する

- ミキサー情報表示のMICエリアでをタッチして、BEAT FXを加えるマイクをマイクメニューから選択することができます。
 - [MIC 1] : MIC 1のみにBEAT FXを加えます。
 - [MIC 2] : MIC 2のみにBEAT FXを加えます。
 - [MIC 1 + MIC 2] : MIC 1とMIC 2にBEAT FXを加えます。

4 [BEAT ◀, ▶] ボタンを押して、エフェクトを同期させる拍数の倍率を設定する

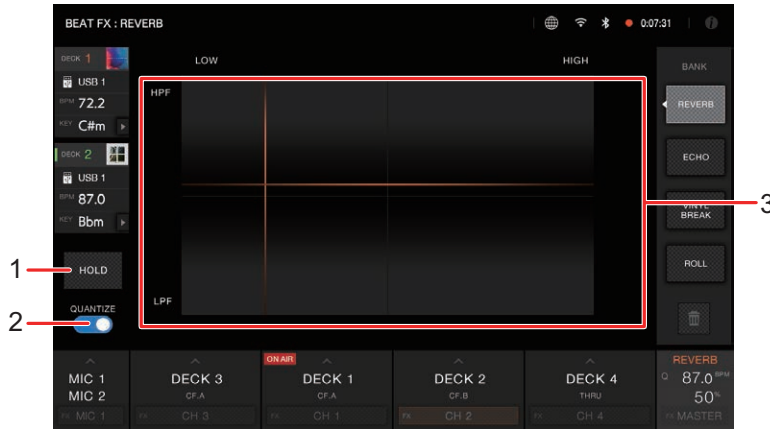
5 [TIME] ノブや [LEVEL/DEPTH] ノブを回して、エフェクトを調整する

6 [ON/OFF] ボタンを押す、またはXY-PADをタッチしてBEAT FXをオンにする

選択したチャンネルの音声に、選択したエフェクトを加えます。

- もう一度[ON/OFF] ボタンを押す、またはXY-PADを離すとBEAT FXがオフになります。

- XY-PADを使用するには、[BEAT FX] ボタンを押します。MAIN DISPLAYにBEAT FX画面が表示されます。



1. **HOLD**: オンにするとXY-PAD から指を離してもBEAT FXがオンのままになります。
2. **QUANTIZE**: エフェクト用のクオンタイズ機能をオン／オフします (112 ページ)。
3. **XY-PAD**: タッチして、エフェクトをオン／オフします。また、タッチしたりなぞったりして、エフェクトの時間的／量的パラメーターを調節できます。

BPMを手動で設定する (TAP モード)

1 再生中の音声の拍に合わせて、[TAP] ボタンを2回以上指でたたく

[TAP] ボタンを指でたたいた間隔の平均値がBPMに設定されます。

- [TAP] ボタンを使ってBPMを設定すると、拍の倍率は1/1に設定され、1拍の時間がエフェクトタイムに設定されます。

- [TAP] ボタンを押しながら [TIME] ノブを回すと、BPM値を1単位で調整できます。
- [TAP] ボタンを押しながら [BEAT ◀, ▶] ボタンを押すと、BPMを0.1単位で設定できます。
- [SHIFT] ボタンを押しながら [TAP] ボタンを押すと、AUTO モードに戻り自動でBPMを取得します。

クオンタイズを使う（エフェクト用）

クオンタイズ機能を使用すると、BEAT FXの〔ON/OFF〕ボタンやXY-PADをラフに操作しても、rekordboxで解析された楽曲のGRID情報をもとに、再生中のトラックのテンポとずれることなくエフェクトを加えることができます。

- あらかじめrekordboxで楽曲を解析してください。rekordboxで楽曲ファイルを解析する方法については、rekordboxの操作説明書を参照してください（8ページ）。

1 〔BEAT FX〕ボタンを押す

BEAT FX画面が表示されます。

2 〔QUANTIZE〕をタッチしてオンにする

クオンタイズ機能がオンになります。

BEAT FXの種類と設定方法

ボタンやノブの操作で下記の内容を設定できます。

BEAT FX / 操作	説明
DELAY 1 2	拍に合わせて、ディレイ音を1回出力します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：1～4 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• XY-PAD:	X：ディレイタイム Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター
ECHO 1 2	拍に合わせて、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：1～4 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• XY-PAD:	X：ディレイタイム Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター
PING PONG 1 2	拍に合わせて、左右でディレイタイムが異なるディレイ音を減衰させながら数回出力します。ステレオ感の効果が得られます。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：10～4 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• XY-PAD:	X：ディレイタイム Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター

BEAT FX / 操作	説明
SPIRAL 1 2	入力音に残響効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対してのディレイタイム（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	ディレイタイム：10～4 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランスとフィードバック
• XY-PAD:	X：ディレイタイム Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター
REVERB 1 2	入力音に残響効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	残響エフェクトの度合い：1～100%
• TIME :	残響エフェクトの度合い：1～100%
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• XY-PAD:	X：フィルターのカットオフ周波数 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター
TRANS	拍に合わせて、音声を周期的にカットします。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対してのカットする周期（倍率）：1/16～16拍
• TIME :	エフェクト時間：10～16 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランスとデューティ
• XY-PAD:	X：カットする周期 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター

BEAT FX / 操作	説明
FILTER	拍に合わせて、周期的にフィルターのカットオフ周波数が変化します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10~32 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• XY-PAD:	X：エフェクト効果を細かく揺らす周期 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター
FLANGER	拍に合わせて、周期的なフランジャー効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10~32 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• XY-PAD:	X：エフェクト効果を細かく揺らす周期 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター
PHASER	拍に合わせて、周期的なフェイザー効果を加えます。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対するエフェクト移動周期（倍率）：1/16~64拍
• TIME :	エフェクト移動周期：10~32 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	エフェクトの度合い
• XY-PAD:	X：エフェクト効果を細かく揺らす周期 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター

BEAT FX / 操作	説明
PITCH	原音の音程を変化させます。
• BEAT ◀, ▶:	エフェクト音の音程：-50~100
• TIME :	エフェクト音の音程：-50~100
• LEVEL/DEPTH:	エフェクト音の音程
• XY-PAD:	X：エフェクト音の音程 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター
SLIP ROLL	エフェクトをオンにしたときの入力音を記録し、記録した音を設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。 エフェクト時間が変わると入力音を再び記録します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/16~16拍
• TIME :	エフェクト時間：10~4 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• XY-PAD:	X：エフェクト時間 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター
ROLL	エフェクトをオンにしたときの入力音を記録し、記録した音を設定した拍の倍率に合わせて繰り返し出力します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/16~16拍
• TIME :	エフェクト時間：10~4 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	原音とエフェクト音のバランス
• XY-PAD:	X：エフェクト時間 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター

BEAT FX / 操作	説明
VINYL BRAKE	拍に合わせて入力音の再生速度が徐々に遅くなり、再生が停止します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対するエフェクト周期（倍率）：1/16~16拍
• TIME :	エフェクト時間：10~4 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	再生速度
• XY-PAD:	X：エフェクト時間 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター
HELIX	入力音を記録し、記録した音を設定した時間的パラメーターに合わせて繰り返し出力します。
• BEAT ◀, ▶:	BPMの1 拍に対してのエフェクト時間（倍率）：1/16~16拍
• TIME :	エフェクト時間：10~4 000（ms）
• LEVEL/DEPTH:	音を重ねる割合
	• [LEVEL/DEPTH] ノブを左に回し切ってから右に回すと、減衰率も変化させることができます。右に回し切ると、出力音が固定されます。
• XY-PAD:	X：エフェクト時間 Y：ハイパスフィルター、ローパスフィルター

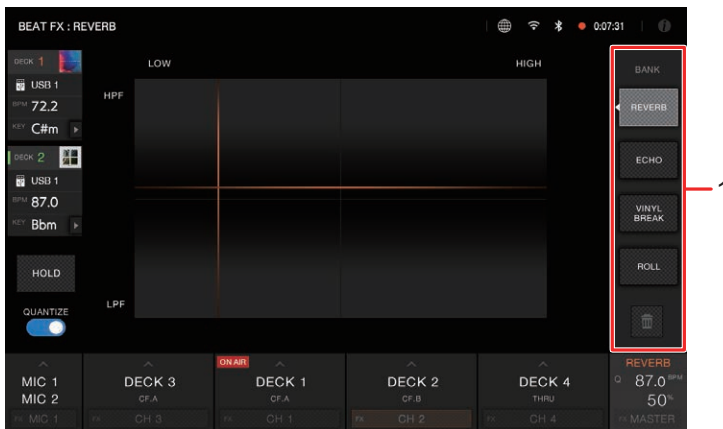
¹ BEAT FXチャンネル切替えでCH 1~CH 4を選択しているときは、そのチャンネルの[CUE]ボタンを押してもエフェクト音はモニターできません。

² チャンネルフェーダーを[0]の位置に合わせて入力音を切ると、エフェクト音が残ります（エフェクトをオフにしたあともエフェクト音が残ります）。

BEAT FX BANKにBEAT FXを登録する

BEAT FXをBEAT FX BANKに4つまで登録することができます。電源をオフにしても、BEAT FX BANKは保持されます。

- 1 [BEAT FX] ボタンを押す
- 2 [FX SELECT] ノブで、登録するBEAT FXを選択する



1. BEAT FX BANK

3 空のBEAT FX BANKをタッチする

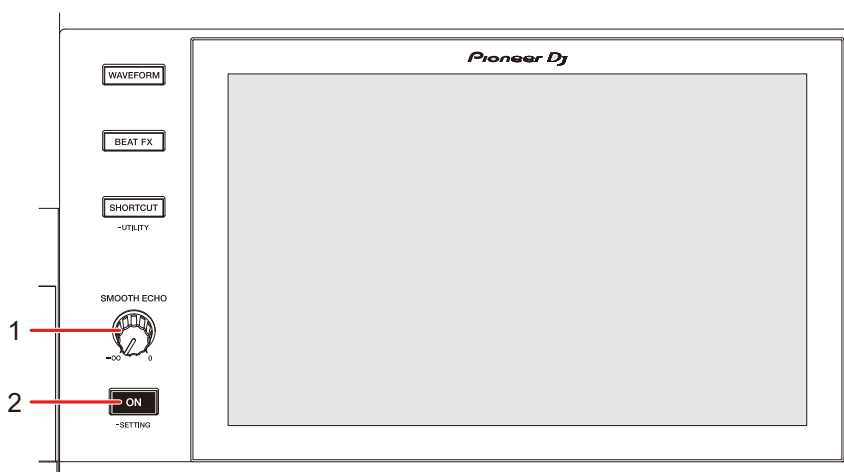
[FX SELECT] ノブで選択されているBEAT FXが登録されます。

- BEAT FXが登録されているBEAT FX BANKには上書き登録できません。をタッチして登録を解除してから、新しいBEAT FXを登録してください。

SMOOTH ECHO

SMOOTH ECHO を使うと、簡単な操作で、再生中の音声にエコーを加えることができます。

SMOOTH ECHO セクション

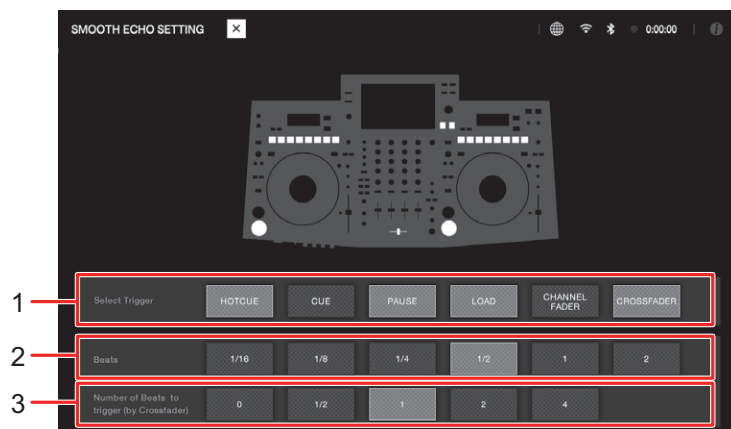


1. **SMOOTH ECHO ノブ**
SMOOTH ECHO のエコーの音量を調整します。
2. **SMOOTH ECHO ON ボタン**
SMOOTH ECHO のオン／オフを切り替えます。

SMOOTH ECHO を使う

1 [SMOOTH ECHO ON] ボタンを長押しする (1秒以上)

エフェクトの設定画面が表示されます。



1. **Select Trigger**
2. **Beats**
3. **Number of Beats to trigger (by Crossfader)**

2 エコーを加える操作を選択する

- **[HOT CUE]** : ホットキューを実行したときにエコーを加えます。
- **[CUE]** : バックキューを実行したときにエコーを加えます。
- **[PAUSE]** : 一時停止を実行したときにエコーを加えます。
- **[LOAD]** : 楽曲ファイルのロードを実行したときにエコーを加えます。
- **[CHANNEL FADER]** : チャンネルフェーダーを使って無音にしたときにエコーを加えます。
- **[CROSSFADER]** : クロスフェーダーを反対方向に動かして無音にしたときにエコーを加えます。

3 パラメーターを設定する

- **[Beats]** : エコーの拍数を選択します。
- **[Number of Beats to trigger (by Crossfader)]** : エコーが有効になるまでの拍数を設定します。

4 **〔SMOOTH ECHO ON〕** ボタンを押して、**SMOOTH ECHO** をオンにする

SMOOTH ECHO がオンになるとボタンが点灯します。

5 エコーを加える操作を実行する

拍に合わせて、ディレイ音を減衰させながら数回出力します。

DJソフトウェアを使う

MIDI 対応のソフトウェアをインストールした PC/Mac を USB ケーブルを使って接続すると、本機から DJ ソフトウェアを操作できます。

- 本機で PC 上のトラックを再生するには、お使いの PC にあらかじめ専用オーディオドライバーソフトウェアをインストールしてください。Mac をお使いの場合は、専用オーディオドライバーソフトウェアのインストールは必要ありません（15 ページ）。
- 本機の MIDI メッセージについては、下記のサイトを参照してください。

pioneerdj.com/support/

- お使いの PC/Mac に、あらかじめ DJ ソフトウェアをインストールし、オーディオおよび MIDI の設定を行ってください。
- rekordbox または Serato DJ Pro をお使いの場合は、MIDI の設定は必要ありません。
- 本機と PC/Mac は、直接 USB ケーブルで接続することを推奨します。USB ハブを使用する場合は、お使いになる PC/Mac のメーカー推奨製品を使用してください。すべての USB ハブの動作を保証するものではありません。

DJソフトウェアを操作する

1 本機と PC/Mac を接続する

☛ 「本体リア部」（30 ページ）

2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。

3 [SOFTWARE CONTROL] を選択する

[SOFTWARE CONTROL] 画面が表示されます。

4 [LOAD 1/3] または [LOAD 2/4] ボタンを押す

ボタンを押したデッキ部がコントロールモードに切り替わります。

5 DJソフトウェアを起動する

DJソフトウェアを使う

DJソフトウェアとの通信を開始します。

- ボタンによっては、DJソフトウェアの操作に使用できないことがあります。
- 通信中の DJ ソフトウェア以外のデバイスからトラックをコントロールモードオンのデッキにロードすると、コントロールモードがオフになります。

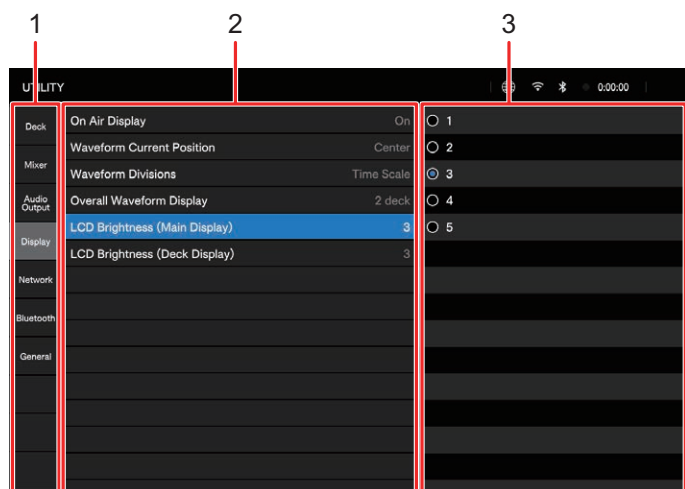
設定

UTILITY 設定または **[SHORTCUT]** 画面で本機の設定を変更します。また、あらかじめ MY SETTINGS（本機の機能設定）を記録メディア（USB）に保存しておく、DJ 交代時などに設定を読み込んで、一括で本機に適用できます。

設定を変更する

1 **[SHORTCUT]** ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。



1. カテゴリー
2. 設定項目と現在設定値表示
3. 設定値

2 カテゴリーを選択する

3 設定項目を選択する

☐ 「UTILITY 設定項目」 (125 ページ)

4 設定値を選択する

- **[SHORTCUT]** ボタンを押すと、[UTILITY] 画面を閉じます。

UTILITY 設定項目

❖ Deck カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Load Lock	再生中にほかのトラックのロードを可能とするかどうかを設定します。 設定値：Unlock*、Lock
Quantize Beat Value (Deck) ¹	クオンタイズの拍数を設定します。 設定値：1/8、1/4、1/2、1*
Hot Cue Auto Load ¹	トラックのロード時に自動でホットキュー／ループを呼び出すかどうかを設定します（82 ページ）。 設定値：Off、rekordbox Setting、On*
Hot Cue Color	[HOT CUE] (A ～ H) ボタンの点灯色設定を指定します（81 ページ）。 設定値：Off*、On
Overwrite Current Cue with Hot Cue	ホットキュー／ループを設定する、またはホットキュー／ループから再生を開始すると、そのポイントが新しいキューポイントとして設定されます（81 ページ、82 ページ）。 設定値：Off*、On

設定項目	説明
Auto Cue Level	オートキューで無音部として認識する音圧レベルを設定します。 - 設定値：-78dB、-72dB、-66dB、-60dB、-54dB、-48dB、-42dB、-36dB、Memory Cue*、Hot Cue [Memory Cue] は、保存されているキュー／ループポイントのうち、トラックの開始位置に最も近いポイントをオートキューのキューポイントに設定します。DECK DISPLAYの[A.CUE] が白色で点灯します。 [Hot Cue] は、保存されているホットキュー／ループポイントのうち、トラックの開始位置に最も近いポイントをオートキューのキューポイントに設定します。DECK DISPLAYの[A.CUE] が白色で点灯します。
Vinyl Speed Adjust	VINYLモードの再生と停止の速度の調整方法を設定します（72 ページ）。 設定値：Touch&Release、Touch*、Release
Play Mode	トラックの再生方法を変更します。 - 設定値：Continue、Single* [Continue]：トラックの終わりに到達すると自動で次のトラックをロードします。 [Single]：トラックの終わりに到達すると再生が停止します。次のトラックは自動でロードされません。
Jog Ring Brightness	JOG RING ILLUMINATION の明るさを設定します。 設定値：Off、1、2*
Jog Ring Indicator	トラックの残り時間が少なくなったときに、JOG RING ILLUMINATION を点滅させるかどうかを設定します。 設定値：Off、On*

¹ **[SHORTCUT]** 画面から設定することもできます。

❖ Mixer カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Channel Input Select Memory	[CH 3] または [CH 4] の入力切替えの状態をメモリーします。 設定値：Off*、On Bluetooth を選択しているときはメモリーされず、電源をオンにすると DECK 3 または DECK 4 が選択されます。 PHONO を選択しているときにメモリーした場合、次回起動時に入力する信号によっては大音量が出力される場合があります。入力する信号と設定が合っているか確認してください。
EQ/ISO ¹	EQ/ISO (HI、MID、LOW) ノブで調整する機能（イコライザーまたはアイソレーター）を設定します。 設定値：EQ*、ISO
Channel Fader Curve ¹	チャンネルフェーダーカーブを設定します（95 ページ）。 設定値： Curve1、 Curve2*、 Curve3
Crossfader Curve ¹	クロスフェーダーカーブを設定します（96 ページ）。 設定値： Curve1*、 Curve2、 Curve3
Headphones Mono Split/ Stereo ¹	ヘッドホン出力の [Mono Split] と [Stereo] を切り替えます。 設定値：Mono Split、Stereo*
USB Output Level	USB 端子（Type-C）から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：-19dB*、-15dB、-10dB、-5dB
Mic Output to Booth	マイクの音声を [BOOTH] 端子に出力するかどうかを設定します。 設定値：Off、On*

設定項目	説明
Mic Output to Master REC	マイクの音声を MASTER REC（録音音声）に出力するかどうかを設定します。 設定値：Off、On*
Mic Output to USB	マイクの音声を USB 端子（Type-C）に出力するかどうかを設定します。 設定値：Off、On*
Talkover Mode	Talkover のモードを設定します。 - 設定値：Advanced*、Normal [Advanced] は、[LEVEL] ノブの設定値にしたがって、MIC チャンネル以外の音声の中音域だけを減衰して出力します。 [Normal] は、[LEVEL] ノブの設定値にしたがって、MIC チャンネル以外の音声を減衰して出力します。
Talkover Level	Talkover の音声減衰レベルを設定します。 設定値：-24dB、-18dB*、-12dB、-6dB

¹ [SHORTCUT] 画面から設定することもできます。

❖ Audio Output カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Master Attenuator	[MASTER 1]、[MASTER 2] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：-12dB、-6dB、0dB*
Master Peak Limiter	マスター出力の急激で不快なデジタルクリップの発生を緩和します。 設定値：Off、On*
Booth Monitor Attenuator	[BOOTH] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：-12dB、-6dB、0dB*

設定項目	説明
Zone Attenuator	[ZONE] 端子から出力する音声の減衰レベルを設定します。 設定値：-12dB、-6dB、0dB*

❖ Display カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
On Air Display	ミキサー情報表示にオンエア表示を表示するかどうか設定します。 設定値：Off、On*
Waveform Current Position	拡大波形に表示する現在再生位置（中央または左側）を設定します。 設定値：Center、Left*
Waveform Divisions	MAIN DISPLAYのプレーイングアドレスの下に表示する内容を設定します。 - 設定値：Time Scale、Phrase* [Time Scale]：30秒間隔で目盛を表示します。 [Phrase]：rekordboxで解析したPhrase Dataを表示します。 - Phrase Dataがない場合は、Time Scaleが表示されます。
Overall Waveform Display ¹	MAIN DISPLAYのデッキ表示を2デッキ表示と4デッキ表示とで切り替えます。 設定値：2deck*、4deck
LCD Brightness (Main Display) ¹	MAIN DISPLAYの明るさを調整します。 設定値：1、2、3*、4、5
LCD Brightness (Deck Display) ¹	DECK DISPLAYの明るさを設定します。 設定値：1、2、3*、4、5

¹ [SHORTCUT] 画面から設定することもできます。

❖ Network カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Wi-Fi Setting	無線ルーターのアクセスポイントを使って本機と接続する設定を行います（132 ページ）。
Wi-Fi Frequency	使用する周波数帯を設定します。 • 設定値：5GHz (Recommended)*、2.4GHz/5GHz
Wi-Fi Address	無線 LAN (Wi-Fi) の IP アドレスと MAC アドレスを表示します。
Ethernet Info	有線 LAN の IP アドレス、MAC アドレスを表示します。

❖ Bluetooth カテゴリー

設定項目	説明
Bluetooth Setting	Bluetooth 機器と接続する設定を行います（133 ページ）。

❖ General カテゴリー

*：お買い上げ時の設定

設定項目	説明
Language	画面表示言語を設定します。
Screen Saver	スクリーンセーバーを設定します。 • 設定値：Off、On* • [On] に設定すると、以下のときにスクリーンセーバーが起動します。 ー 本機にトラックがロードされていない状態で5分以上何も操作されないとき ー 一時停止、キュー待機状態、またはトラックの終わりに到達した状態のまま100分以上何も操作されないとき • 本機を操作するとスクリーンセーバーは解除されます。
Power Management	パワーマネジメント機能を設定します（131 ページ）。 • 設定値：Never、20min*

設定項目	説明
Default	本機の設定をお買い上げ時の設定に戻します。 • 設定値： Cancel* 、 Ok
Serial No.	本機のシリアルナンバーを表示します。
License	本機のライセンスに関する情報を表示します。
Version No.	本機のソフトウェアバージョンを表示します。

----- パワーマネジメント機能

[Power Management] を [20min] に設定しているときに、以下の状態で本機を操作せずに20分経過すると、自動的にオフモードになります。

- － 本機に音声信号が入力されていない。
- － PRO DJ LINK接続されていない。
- － 記録メディア（USB）がセットされていない。
- － USB端子（本体リア部）にPC/Macが接続されていない。

DECK1/3側の [QUANTIZE] ボタンを押すと、オフモード状態が解除されます。

- 本機は、パワーマネジメント機能を [20min] に設定して出荷しています。
- パワーマネジメント機能を使用しないときは [Never] に設定してください。
- パワーマネジメント機能を [Never] にしたときは、消費電力が増加することがあります。

無線LAN (Wi-Fi®) 接続

無線ネットワークに接続する

1 [SHORTCUT] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 [Wi-Fi Setting] を選択する

[Wi-Fi Setting] 画面が表示されます。

3 [Wi-Fi] をタッチしてオンにする

ネットワークの検索を開始し、利用可能な SSID の一覧を表示します。



1.  (Wi-Fi接続アイコン)

2. Wi-Fi オン／オフ

3. SSID一覧

4 利用するネットワーク名 (SSID) をタッチする

パスワード入力画面が表示されます。

5 パスワードを入力して、[CONNECT] をタッチする

接続に成功すると、利用するネットワーク名 (SSID) に [CONNECTED] が表示され、SSID一覧の先頭に表示されます。

- 以前利用したことのあるネットワークの場合は、この操作は必要ありません。
- 利用中のネットワーク名（SSID）をタッチすると、ネットワーク情報画面が表示され、ネットワーク情報を確認できます。ネットワーク情報画面の[**AUTO-CONNECT**]をオンにすると、次回から自動的に接続を開始します。
- 本機に登録済みのネットワーク名（SSID）を削除するには、SSID一覧の最後に表示される[**SAVED NETWORKS**]をタッチします。一覧から削除するネットワーク名（SSID）を選択して、ネットワーク情報画面の[**FORGET THIS NETWORK**]をタッチします。

Bluetooth® 接続

PC/Macやモバイルデバイスの音声をBluetoothで本機に入力することができます。

Bluetooth 機器と接続する

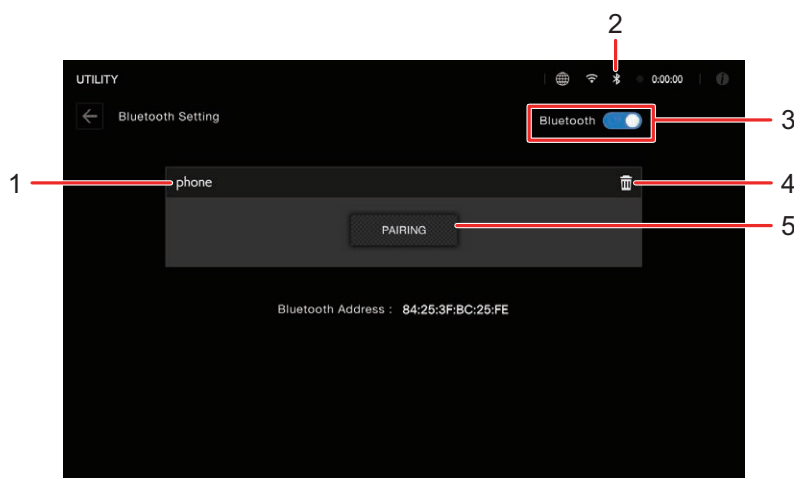
1 [SHORTCUT] ボタンを長押しする

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 [Bluetooth Setting] を選択する

[Bluetooth Setting] 画面が表示されます。

3 [Bluetooth] をタッチしてオンにする



1. 接続機器名
2.  (Bluetooth接続アイコン)
3. Bluetooth オン／オフ
4.  (REMOVE DEVICE)
5. PAIRING

4 [PAIRING] をタッチする

本機がペアリング状態になります。

- ペアリング状態中は、Bluetooth接続アイコンが点滅します（約120秒間）。

5 Bluetooth機器でペアリング操作を行う

6 本機から接続許可の操作を行う

接続が完了すると、Bluetooth接続アイコンが点滅から点灯に変わります。

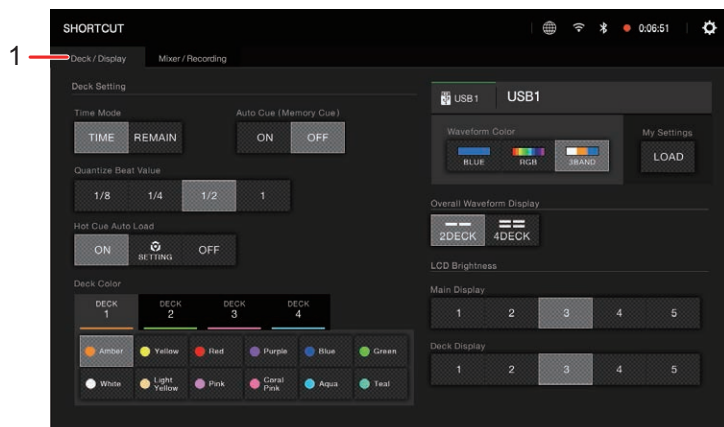
- 本機がペアリング状態の間（約120秒間）に、Bluetooth機器側でペアリング操作を行ってください。120秒以内にペアリングできなかった場合、Bluetooth接続アイコンは、グレーに変わります。
- Bluetooth機器のペアリング操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書を参照してください。
- 本機に登録済みのBluetooth機器は、Bluetoothがオンであれば自動的に接続されます。
- 本機に登録できるBluetooth機器は1台です。登録済みの機器とは別の機器をペアリングすると、登録情報は上書きされます。もう一度登録するには、ペアリングの操作を行ってください。
- 本機にBluetooth機器を登録済みのときは、 をタッチするとほかのBluetooth機器とペアリングすることができます。

SHORTCUT 画面から設定を変更する

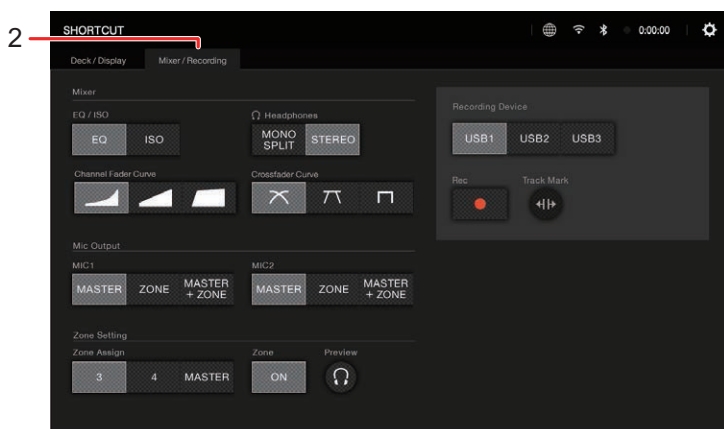
1 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

Deck/Display タブ：



Mixer/Recording タブ：



1. Deck/Display タブ
2. Mixer/Recording タブ

2 設定値を選択する

☛ 「SHORTCUT 画面の設定項目」 (136 ページ)

- もう一度 [SHORTCUT] ボタンを押すと、[SHORTCUT] 画面を閉じます。

SHORTCUT 画面の設定項目

❖ Deck/Display タブ

設定項目	説明
Deck Setting	
Time Mode	デッキの時間表示の [TIME] (経過時間表示) と [REMAIN] (残り時間表示) を切り替えます。
Auto Cue	デッキのオートキューをオン／オフします。
Quantize Beat Value	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (125 ページ)。
Hot Cue Auto Load	
Deck Color	デッキごとに JOG RING ILLUMINATION、デッキ切替えボタンおよび [LOAD] ボタンの色を設定します。
Device 表示	デバイス名を表示します。
Waveform Color	波形の色を変更します。
My Settings	[LOAD] をタッチして、記録メディア (USB) などから My Settings 情報を読み込みます (138 ページ)。
Overall Waveform Display	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (125 ページ)。
LCD Brightness	
Main Display	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (125 ページ)。
Deck Display	

❖ Mixer/Recording タブ

設定項目	説明
Mixer	
EQ/ISO	
Headphones	
Channel Fader Curve	UTILITY 設定と同様の内容を設定します (125 ページ)。
Crossfader Curve	
Mic Output	
MIC1	MIC 1 の音声の出力先を選択します。
MIC2	MIC 2 の音声の出力先を選択します。
Zone Setting	
Zone Assign	[ZONE] 端子に出力するチャンネルを選択します。
Zone	ZONE 出力のオン／オフを切り替えます。
Preview	タッチしている間、ZONE の音声をモニターすることができます (97 ページ)。
Recording	
Recording Device	録音するデバイスを選択します (69 ページ)。
Rec	録音を開始します (69 ページ)。
Track Mark	録音しながらトラックを分割します (69 ページ)。

記録メディア（USB）から MY SETTINGS を読み込む

記録メディア（USB）に保存されている MY SETTINGS の設定を、本機に読み込みます。

- PRO DJ LINK で接続している rekordbox や、CloudDirectPlay から読み込むこともできます。

1 記録メディア（USB）を本機にセットする

- 「メディアの挿入と取り外し」（47 ページ）

2 [SOURCE] ボタンを押す

[SOURCE] 画面が表示されます。

3 デバイスを選択する

4 [SHORTCUT] ボタンを押す

[SHORTCUT] 画面が表示されます。

5 [MY SETTINGS] の [LOAD] をタッチする

MY SETTINGS 設定を本機に読み込みます。

- 再生中は実行できません。一時停止してください。
- もう一度 [SHORTCUT] ボタンを押すと、[SHORTCUT] 画面を閉じます。

スペック

仕様

一般

電源	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力	60 W
消費電力（オフモード）	0.3 W
本体質量	13.2 kg
最大外形寸法	(W x D x H) 925.7 × 499.7 × 142 mm
許容動作温度	+5 °C ~ +35 °C
許容動作湿度	5 % ~ 85 %（結露のないこと）

オーディオ部

サンプリングレート	44.1 kHz
MASTER D/A コンバーター	32bit
その他のA/D, D/A コンバーター	24bit

周波数特性

USB, LINE, MIC 1, MIC 2	20 Hz ~ 20 kHz
-------------------------------	----------------

S / N 比（定格出力時、A-WEIGHTED）

USB	114 dB
LINE	96 dB
PHONO	85 dB
MIC	79 dB

全高調波歪率（20 Hz ~ 20 kHz BW）

USB	0.003 %
LINE	0.005 %

基準入力レベル / 入力インピーダンス

LINE	-12 dBu / 47 kΩ
PHONO	-52 dBu / 47 kΩ
MIC	-57 dBu / 3 kΩ

基準出力レベル / 負荷インピーダンス / 出力インピーダンス

MASTER 1	+6 dBu / 10 kΩ / 360 Ω 以下
MASTER 2	+2 dBu / 10 kΩ / 700 Ω 以下
ZONE	+6 dBu / 10 kΩ / 360 Ω 以下
BOOTH	+6 dBu / 10 kΩ / 700 Ω 以下
PHONES	+8 dBu / 32 Ω / 1 Ω 以下

定格出力レベル / 負荷インピーダンス

MASTER 1	+25 dBu / 10 kΩ
MASTER 2	+21 dBu / 10 kΩ

クロストーク

LINE	84 dB
------------	-------

チャンネルイコライザー特性

HI.....	-26 dB ~ +6 dB (20 kHz)
MID.....	-26 dB ~ +6 dB (1 kHz)
LOW	-26 dB ~ 6 dB (20 Hz)

マイクイコライザー特性

HI.....	-12 dB ~ +12 dB (10 kHz)
MID.....	-12 dB ~ +12 dB (2.5 kHz)
LOW	-12 dB ~ +12 dB (100 Hz)

入力 / 出力端子

LINE / PHONO入力端子

RCA ピンジャック	2 系統
------------------	------

MIC 入力端子

XLR コネクタ & 1/4" TRS ジャック	2 系統
--------------------------------	------

MASTER 1 出力端子

XLR コネクタ	1 系統
----------------	------

MASTER 2 出力端子

RCA ピンジャック	1 系統
------------------	------

ZONE 出力端子

XLR コネクタ	1 系統
----------------	------

BOOTH 出力端子

1/4" TRS ジャック	1 系統
---------------------	------

PHONES 出力端子

1/4" ステレオジャック	1 系統
3.5 mm ステレオミニジャック	1 系統

USB 端子

USB Type-A	3 系統
電源供給	5 V / 1 A 以下
USB Type-C	1 系統

LINK 端子 (PRO DJ LINK)

LAN 端子 (1000BASE-T)	1 系統
---------------------------	------

無線 LAN 部

対応規格..... IEEE 802.11 a / b / g / n / ac
 使用周波数帯域..... 2.4 GHz / 5 GHz 帯

Bluetooth 部

無線方式..... Bluetooth ver. 4.2
 最大通信距離..... 見通しの良い状態で約 20 m*
 使用周波数帯域..... 2.4 GHz 帯
 変調方式..... FHSS（周波数ホッピングスペクトラム拡散方式）
 対応コーデック..... SBC、AAC

*通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

本機は、すべての無線 LAN および Bluetooth 機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、下記の項目および、Pioneer DJ サポートページから [OPUS-QUAD] の [よくある質問 (FAQ)] を確認してください。

pioneerdj.com/support/

- 本機と接続している機器も確認してください。
- 電源を入れなおすと正常に動作することがあります。

それでも正常に動作しないときは、「使用上のご注意」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。

エラー表示

❖ E-8302 (エラータイプ：CANNOT PLAY TRACK)

- 記録メディア内の楽曲ファイルを正常に読み取れません。楽曲ファイルが破損している可能性があります。
本機で再生可能なフォーマットのファイルを再生できる別のプレーヤーなどを使って、再生できるかを確認してください。

❖ E-8304 / E-8305 (エラータイプ：UNSUPPORTED FILE FORMAT)

- 本機が対応していないフォーマットの楽曲ファイルがロードされています。本機が対応しているフォーマットの楽曲ファイルを使用してください (10 ページ)。

無線 LAN (Wi-Fi)

❖ アクセスポイントに接続できない

- ネットワーク名 (SSID)、パスワード、セキュリティの種類が正しく設定されているか確認してください。ネットワークの設定と本機の設定を合わせてください。

❖ アクセスポイントが見つからない

- 本機と無線ルーター（アクセスポイント）の距離が離れている場合は、距離を近づけてください。
- 本機と無線ルーター（アクセスポイント）の間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください。

Bluetooth

❖ 本機と Bluetooth 機器を接続できない

- 本機と Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、再度ペアリング操作を行ってください。

❖ 音が途切れる

- 本機と Bluetooth 機器の距離が離れている場合は、距離を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間に障害物がある場合は、障害物を取り除いてください。
- Bluetooth と無線 LAN (Wi-Fi) を同時に使用の場合は、電波が干渉することがあるため、無線 LAN (Wi-Fi) を OFF にするか、UTILITY 設定の [Wi-Fi Frequency] を [5GHz (Recommended)] に設定してください。

CloudDirectPlay

❖ 楽曲が表示されない、楽曲のロードができない

- rekordbox for Mac/Windows または rekordbox for iOS/Android と、クラウドのライブラリの同期が完了していない場合は、ブラウザ画面に楽曲が表示されません。同期が完了してから使用してください。
- Dropbox に楽曲がアップロードされていません。
ブラウザ画面には、Dropbox にアップロードした楽曲ファイルのみが表示されます。また、アップロードが完了していない場合は、楽曲ファイルをロードできません。あらかじめ、使用したい楽曲ファイルを Dropbox へアップロードしてから使用してください。rekordbox for Mac/Windows、rekordbox for iOS/Android を使ってアップロードできます。
- Dropbox のメンテナンス中や障害発生中は、楽曲ファイルをロードできません。メンテナンス完了後や復旧後に、使用してください。メンテナンスや障害の発生状況は、以下の Dropbox の Web サイトから確認できます。

<https://status.dropbox.com/>

❖ 記録メディア (USB) の容量が足りない

- rekordbox CloudDirectPlay では、Dropbox からロードした楽曲ファイルを記録メディア (USB) に一時的に保存します。快適に使用するには 1 GB 以上の空き容量を推奨します。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が現れることがありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所で使用する際は、本機の電源をオンにしたあと液晶画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たって画面表示が見えにくいときは、直射日光をさえぎってください。

クリーニングについて

液晶画面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

- 有機溶剤・酸・アルカリ類は使用しないでください。

タッチディスプレイについて

- 操作は指で行い、無理な力をかけないでください。
- 指以外の物、特にボールペン、シャープペンシル、とがった爪先など、先端の硬い物や先端の鋭利なもので操作しないでください。

商標および登録商標について

- rekordbox™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- PRO DJ LINK™ は、AlphaTheta 株式会社の商標または登録商標です。
- Mac、macOS および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH. の商標または登録商標です。
- Serato DJ Pro は Serato Limited 社の登録商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Android は Google LLC の商標です。
- Dropbox は、Dropbox Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

AlphaTheta 株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

その他記載されている商品名、技術名および会社名などは、各社の商標または登録商標です。

MP3 の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされていません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは、<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

著作権

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用するうえでのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用するうえでのすべての責任を負います。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2022 AlphaTheta 株式会社 禁無断転載
<DRJ1091-D>